

鶴岡市総合計画審議会 教育文化専門委員会

平成25年7月11日(木)
午後6時30分～
鶴岡アートフォーラム大会議室

次 第

- 1 開 会
- 2 委嘱状の交付
- 3 あいさつ
- 4 自己紹介
- 5 委員長の選出
- 6 委員長職務代理者の指名
- 7 説 明
(1)鶴岡市総合計画基本計画の中間見直しの進め方について
- 8 報 告
(1)総合計画審議会での意見について
- 9 協 議
(1)鶴岡市の教育文化分野の現状と課題について

(2)その他
- 10 閉 会

鶴岡市総合計画基本計画 評価調書

第3章（教育文化分野）

課室等名 学校教育課

章	3	節	1	学校教育の充実
細節	(1)	「知育」、「徳育」、「体育」のバランスのとれた学校教育の推進		
<p>【1 社会情勢】</p> <p>学習指導要領が改訂され、趣旨に対応した学習活動が展開できる学習環境の整備が求められている。平成 19 年度に出された特別支援教育の理念により、個々の教育的ニーズに応じた学習環境の整備を図ることが求められている。いじめ・不登校・虐待等、子どもを取り巻く状況に苦悩する子どもたちが多く、教育課題としてあげられている。</p>				
<p>【2 本市の現状】</p> <p>小中学生の在籍児童生徒数は、平成 21 年度 11,752 人、平成 24 年度 10,820 人と 8%の減少である。反面、通常学級在籍で発達障がい等による個別の支援を必要とする児童生徒数は、平成 21 年度 702 人(5.9%)、平成 24 年度 1,472 人(13.5%)と増加している。人口の減少による地域格差が大きく、小学校における複式学級の設置校が平成 24 年度 14 校であり、平成 28 年度複式学級解消を視野に入れた学校統廃合に向けた協議が進行しており、今後の学校適正配置に合わせた教育環境整備を図る必要がある。</p>				
<p>【3 主な施策】</p>				
<p>(主な取組み)</p> <p>笑顔あふれる信頼される学校をめざし、教職員の多様な研修の充実と人的体制の整備を図るとともに、家庭や地域との連携を一層深め、創意工夫に満ちた学校経営を推進します。</p>				
<p>(上記に対する評価)</p> <p>① 今日的学校課題に合わせた研修講座や初任者研修や教職 10 年者研修の実施を通して、今日的課題に対応できる人材の育成が図られている。また、特色ある学校づくりを推進するための補助事業を推進し、各学校の創意工夫に基づいた学校経営が進められている。</p>				
<p>(今後の方向性)</p> <p>不易と流行を見極め、社会情勢や学校現場のニーズに対応した研修の場を確保するとともに、学校の創意工夫が活かされ、地域に信頼される学校づくりが図られるよう継続した補助事業の推進をする。</p>				

	<p>(主な取組み)</p> <p>学習への関心と意欲を高めるとともに、基礎や基本を確実に定着させ、確かな学力を付ける指導を推進します。</p>
	<p>(上記に対する評価)</p> <p>② 「わかる・できる」楽しい授業づくりのため、大学教授等をアドバイザーとして招聘し、学校における授業実践や研修会を開催した。学習指導要領改訂に合わせ、小中学校への教科書や指導書・指導資料等の整備をすることで、ねらいにそった学習指導が進められている。</p>
	<p>(今後の方向性)</p> <p>学習指導要領の主旨に則った各校での授業実践がなされるように、教科書の改訂に合わせた指導書や指導資料等の整備を進めるとともに、授業づくりのための研修の機会を構築する。</p>
	<p>(主な取組み)</p> <p>一人ひとりの教育的ニーズを的確にとらえた指導の充実を図り、特別支援教育体制及び教育相談体制の整備を推進します。</p>
	<p>(上記に対する評価)</p> <p>③ 平成19年度より、特別支援教育コーディネーター養成講座を継続開催しており、専門的な知識技能をもつ教職員が全小中学校に在職している。また、鶴岡市教育相談センターにおいて、専任の教育相談員やスクールカウンセラーを配置しており、学校や家庭との連携のもとに、個別の状態に応じた支援が行われている。</p>
	<p>(今後の方向性)</p> <p>障がい児に係る基礎的な知識技能をもつ教職員を多くし、障がいの有無にかかわらず、生活や学習がしやすい環境づくりを支援する。その支えとなる教育相談センターについては、継続した事業推進を行う。</p>
	<p>(主な取組み)</p> <p>情報の適切な活用や環境保全の取組みなど、今日的な教育課題について積極的に対応できるよう指導の充実を図ります。</p>
	<p>(上記に対する評価)</p> <p>④ 高度情報化社会に対応して教育機器の整備を推進することで、多様な学習形態による学習指導や学習の個別化・個性化に活用するとともに、児童生徒の情報活用能力の育成を図ることができた。</p>
	<p>(今後の方向性)</p> <p>これまで通り、パソコンや周辺機器の整備を計画的に推進し、児童生徒の学習活動に利用しやすい環境づくりを進める。</p>

⑤	(主な取組み)	郷土の自然や歴史、文化、産業などについて積極的に学び、「ふるさと」を愛する心を育む活動を推進するとともに、広い視野に立ち、国際理解に努め、共に生きる態度を育てます。
	(上記に対する評価)	学校と地域の連携をもとに地域人材を積極的・効果的に活用しているとともに、学習場面での市内文化施設の利用促進を図ってきた。また、ALT(外国語指導助手)等との授業や学校生活での関わりは、外国の文化やものの見方・考え方などに直接ふれることができる機会となっている。
	(今後の方向性)	地域人材・地域施設の活用については、今後も積極的に推進できるようにしたい。また、小学校に外国語活動が取り入れられたこともあり、ALT等の活用を通して外国人とのコミュニケーション能力の向上を図るためにも継続していく。
⑥	(主な取組み)	人としてより良く生きようとする態度を育て、社会のルールを遵守し、他者への思いやりの心を行動化する教育を推進します。
	(上記に対する評価)	鶴岡市子ども像に基づく子どもたちを育成するため、実践体験作文の募集や文集発行・表彰を通じた啓発活動が進んでいる。また、「庄内論語」の発行と学校での活用により、古典学習や道徳指導を通して、子どもたちのあるべき姿を示すことにつながっている。
	(今後の方向性)	鶴岡市子ども像指導資料集の発行を通して、子ども像を具体的に取り上げた指導がなされ、子ども像の日常化・実践化を図られるとともに、「庄内論語」の学校や家庭での活用を通して、先人から語り継がれてきた鶴岡の教育風土にふれる機会としていきたい。
⑦	(主な取組み)	日常の清掃活動をはじめ、ボランティア活動、職場体験などの多様な体験学習を通して、発達段階に応じた望ましい勤労観や職業観を育む教育を推進します。
	(上記に対する評価)	小中学校におけるリーダー講習会や合同音楽会等、学校の枠をこえた交流事業が実施され、自治的・自発的な活動が進められている。特に、中学校においては、職場体験や福祉体験・農業体験等のキャリア教育の推進を通して、勤労観や職業観の向上が図られている。
	(今後の方向性)	実体験を通して社会力と心を育む教育活動を推進できるよう、各校の実践を支援するとともに、効果的な実践のための家庭や地域との連携が図られるように支援していく。

	<p>(主な取組み)</p> <p>関係機関と連携しながら、健康でたくましい子どもを育てる体育及び健康や安全指導の充実を図ります。</p>
⑧	<p>(上記に対する評価)</p> <p>自尊感情の育成による自他のいのちを大切にする指導を実施するとともに、東日本大震災を受け、防災教育アドバイザーを招聘し、教職員の防災管理意識の高揚が図られているとともに、児童生徒の危険回避能力の伸長が図られている。また、家庭や地域と連携した安全体制づくりが推進されている。</p>
	<p>(今後の方向性)</p> <p>学校・家庭・地域連携のもとに、総合的に児童生徒の安全を確保し続けることが必要である。</p>
	<p>(主な取組み)</p> <p>学校給食では地場産物の利用を促進しながら、食材を通して郷土の自然や食文化、産業への理解を深めるなど、食に関する指導の推進を図ります。</p>
⑨	<p>(上記に対する評価)</p> <p>地産地消については、給食用に納入する生産者グループを支援し、平成 23 年度「地元産野菜の導入に関する協定」を締結したことにより、供給体制が確立され、使用量が増加した。また、地域の特産物を使用した給食や行事食等を提供するとともに生産者と児童生徒との交流給食を実施し、地場産物の食材や地域の食文化への理解を深めることが出来た。</p>
	<p>(今後の方向性)</p> <p>平成 24 年度「鶴岡市食育・地産地消推進計画」が策定され、新たに地場産物の利用率の数値目標が設定された。さらに安定的な生産体制と全市的な供給体制を構築し、品目と使用量の拡大と情報の提供に努め、食育と地産地消を推進する。</p>
	<p>(主な取組み)</p> <p>子どもたちの生活の基盤となる「基本的な生活習慣」の確立に向け、家庭と連携しながら、幼・保・小・中の一貫した教育の充実を図ります。</p>
⑩	<p>(上記に対する評価)</p> <p>幼児教育連絡協議会を母体とした研修会の実施や会誌の発行を通して、関係職員の研修の充実が図られている。また、幼保小1年担任者研修会の実施を通して、幼保小相互の理解と連携が強化されてきている。</p>
	<p>(今後の方向性)</p> <p>子どもたちの健全な育成のために、家庭や関係課との連携のもと、幼保小それぞれの実践研修を積むとともに、更なる連携に向けて事業を推進する。</p>

【4 主な課題】

- ・③に関連して 教育相談センター教育相談員の確保と年次的な資質向上システムのあり方（現状は個人的な研修を積むことによりレベルアップが図られている）
- ・④に関連して 基本OSの変更に伴う機器整備体制の構築とそれに伴う予算的措置
- ・③・⑩に関連して 乳・幼保・小中・高・就労後と子どもの発達や育ちに応じた支援のあり方について、関係する行政機関相互の理解や連携を図るための体制整備

章	3	節	1	学校教育の充実
細節	(2)	適正な教育環境整備		
<p>【1 社会情勢】</p> <p>国立社会保障・人口問題研究所の推計によれば、我が国の14歳以下の人口は、平成22年の16,839,000人に対して平成27年には15,827,000人と1,012,000人減少する見込みであり、山形県においても、平成22年の150,000人に対して平成27年には134,000人と16,000人減少する見込みとなっている。その後もこの減少傾向は続くものと予想されている。また、文部科学省においては、公立学校施設の耐震化について、平成27年度末までのできるだけ早い時期に完了させるという目標を設定して取り組みを推進している。</p>				
<p>【2 本市の現状】</p> <p>本市の小学校の児童数は、平成21年度の7,572人に対して平成24年度は6,923人と649人減少しており、また、平成31年度には5,986人になると見込まれる。これに伴い、複式学級を編成する小学校数と複式学級数は、平成21年度の13校21学級から平成24年度には14校28学級へ1校7学級増加している。</p>				
<p>【3 主な施策】</p>				
<p>(主な取組み)</p> <p>学校の規模による教育効果を総合的かつ多角的な視点から調査、研究し、適正な規模や配置等について検討します。</p>				
<p>(上記に対する評価)</p> <p>本市では、望ましい学校規模の実現を図るため、平成23年5月に「鶴岡市学校適正配置基本計画」を策定し、同年11月に市内8つの中学校区に「地域検討委員会」を設置した。同委員会の下、対象となる小学校区での「懇談会」を開催して、地元主体による協議に努めてきた結果、学校統合への地域合意が進み、平成25年5月時点で、次の3地域において、平成27年度までの計画期間内に統合が決定している。</p> <p>① (1)朝暘第四小、湯田川小及び田川小 (2)朝日小、朝日大泉小及び大網小 (3)三瀬小、小堅小及び由良小</p> <p>これにより、複式学級という変則的な学校運営が解消され、児童と教職員双方の負担が軽減されるとともに、切磋琢磨して学びあう望ましい学校教育環境整備の推進が図られる。</p>				
<p>(今後の方向性)</p> <p>統合が決まった3地域における統合新校開校に向けた準備を進めるとともに、検討対象となっている残る5地域検討委員会(8小学校区)の計画期間内での統合に向け、地域合意の形成に努める。また、学校適正配置は今次限りで終わるものでもなく、今後も引き続き検討が必要なことから、次期計画を見据えた策定準備を平成26年度から進めていく。</p>				

(主な取組み)

学校施設は、地域住民にとってコミュニティの中核や防災拠点としての役割を担うものであることに十分配慮しながら、年次計画に基づき、安全・安心な教育環境の整備を進めるとともに、耐震化を推進します。

(上記に対する評価)

平成 27 年度末までの学校施設耐震化率 100.0%を目指し、国の財政支援を受けながら、計画的に老朽危険施設の改築事業及び耐震性能不足施設の耐震対策事業を進めている。

②

耐震化率は、平成 20 年度末の 67.2%に対して平成 24 年度末では 85.7%となっている。

(今後の方向性)

全面改築事業を実施する鶴岡第三中学校を除いて、平成 27 年度末での学校施設耐震化率 100.0%に向け、引き続き整備を進めていく。

また、災害時に避難所となる施設の更なる安全・安心な環境整備を進めるため、体育館等の天井材（非構造部材）の耐震性の予備調査も行っていく。

(主な取組み)

通学における児童生徒の安全確保に配慮し、保護者や地域の協力を得ながら、通学対策の充実を図ります。

(上記に対する評価)

平成 21 年度に、子どもを犯罪から守る地域ボランティアの「子ども見守り隊」（通学路見守り隊）を市内全小学校区で立ち上げたことにより、学校、家庭、地域が一体となった安全体制が整備されている。

③

また、防犯の専門家、警察官 0B、教員 0B 等に地域学校安全指導員（スクールガード・リーダー）を委嘱し、市内全小学校 40 校の巡回指導や子ども見守り隊の指導育成を行っており、日常的な巡視活動が児童生徒の安全確保に繋がっている。

一方、遠距離通学をしている児童生徒に対しては、スクールバスの運行や定期バス利用に対する助成を行うことで、交通安全の確保と保護者の負担軽減を図っている。

(今後の方向性)

関係機関との連携を図りながら、児童・生徒の安全確保のために、通学対策を継続実施していくとともに、児童・生徒自身の「危険を回避する力」や「危険を察知する力」、安全に対する確かな「判断力」等を、保護者や地域の協力を得ながら、学校の安全教育の中で育成していく。

学校適正配置により遠距離通学となる地域の児童に対しては、安全に通学できるようスクールバスを運行拡大していく。

【4 主な課題】

学校の統合に地元合意が得られない地域（小学校区）に対しては、地域振興策等について、関係部局と連携を取りながら、統合後の地域運営に対する不安を解消していく必要がある。

また、統合が決まった地域については、統合後の校舎の利活用について地元住民にとって何が必要なのか、十分な話し合いが必要である。

章	3	節	1	学校教育の充実
細節	(3)	高等学校教育の充実		
<p>【1 社会情勢】</p> <p>山形県教育委員会高校教育課高校改革推進室では、「田川地区の県立高校の再編整備に係る検討委員会」の報告を踏まえ、平成 27 年度から平成 36 年度の「田川地区の県立高校再編整備（骨子）」について発表した。社会情勢の変化や中学校卒業者の減少、生徒の多様化に対応しつつ、以下 3 点を踏まえた学校の配置や学科構成を検討する方向である。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 高い志を育て生徒の進路目標達成を保障する普通科の充実 2. 専門性の深化と異分野の連携による専門学科、総合学科の充実 3. 多様な学習ニーズに柔軟に対応する学習の場の確保 				
<p>【2 本市の現状】</p> <p>「田川地区の県立高校の再編整備に係る検討委員会」の報告によると、田川地区の中学校卒業生数は、平成 16 年度 2,046 人、平成 26 年度 1,569 人(平成 16 年度比 23.3%減)、平成 36 年度 1,224 人(同 39.2%減)が見込まれる。平成 16 年度の田川地区収容率(公立高校の入学定員÷中学卒業生)は 74.3%であり、平成 26 年度まで 5 学級減の措置をしながらも 81.6%となる。同地区内に高専 1 校、私立校 2 校があることから、実際にはその収容率よりも低くなることを見込まれ、更に学級を減ずる措置や学校統廃合等の整備が必要とされている。</p>				
<p>【3 主な施策】</p> <p>(主な取組み)</p> <p>生徒の能力や創造性を伸ばし、社会の変化に対応した多様な選択ができるよう公立及び私立高等学校生徒の就学機会の確保と特色化や魅力づくりに取り組むよう関係機関に働きかけます。特に、自然を対象とした学びによる人格形成と農林水産業の振興、発展に不可欠な人材育成に寄与している県立庄内農業高等学校や県立加茂水産高等学校の教育振興の充実を関係機関に働きかけるとともに、これからの時代に求められるバイオ分野の人材育成に関する新しい教育体制の整備を促進します。</p> <p>①</p> <p>(上記に対する評価)</p> <p>生徒一人ひとりの様々なニーズや地域社会の期待に応えることのできる多様な学校や学科等を存続し、小中学生にとって将来につながる選択肢が多くあり続けるよう、機会をとらえて県教育委員会に要望してきた。</p> <p>(今後の方向性)</p> <p>県教育委員会高校教育課より出される再編整備計画の動向を見守っていく。</p>				

(主な取組み)

高等学校の生徒が地域の多様な活動に参加することを促すとともに、高等教育機関や企業などとの連携により、生徒の職業観や高次の教育に対する意欲の向上につながる取組みを推進します。

(上記に対する評価)

②

各高校では、地域や小中学校との関わりをもちながら様々な活動を展開しており、子どもたちの活躍の場であるとともに、地域の方々も注目する地域活性化につながる活動として推進されている。また、地元企業等の協力によるインターンシップの機会や内容の充実が図られており、小中学校における総合的な学習等での地域に学ぶ学習や中学校での職場体験学習で培った経験が活かせる機会となっている。

(今後の方向性)

地域産業の特色を活かし、地元企業等の協力をいただきながら、子どもたちの育つ過程の中で系統的なキャリア教育が計画的に実践されるよう、小中高の連携を深めていく。

【4 主な課題】

平成 24 年 10 月に田川地区の県立高校の再編整備に係る検討委員会より、田川地区の高校教育の在り方についての報告書が提出され、その中で以下 5 点の課題が挙げられている。

- ・ 多様な学校や学科が設置され、中卒者の9割以上が地区内の高校等に進学。他地区からの流入が多い学校もある。今後の再編整備で、多様な選択肢をどう提供していくかが課題である。
- ・ 中卒者数の減少により入学定員が未充足の高校が多数。今後も少子化が進行する中で、小規模校化による教育環境の低下を避けるため、長期的展望に立った再編整備が必要である。
- ・ 中学生の希望状況と学科の入学定員が不一致。中学生の希望を踏まえる一方、地域や産業を支える人材育成の場としての役割を総合的に判断し、入学定員をバランスよく設定することが必要である。
- ・ 高校等進学率が99.7%で、多様な生徒が高校に在学。普通科におけるキャリア教育の充実、各学校における特別な支援を必要とする生徒の指導体制の充実、定時制課程の在り方の検討等が必要である。
- ・ 通学のために公共交通機関が利用しにくい地域がある。再編整備を進めるにあたり、地理的条件、交通事情、通学にかかる経費等の要素も考慮することが必要である。

章	3	節	2	高等教育機関の充実
細節	(1)	高等教育機関の充実と学術研究機能の集積		
<p>【1 社会情勢】</p> <p>人材育成、学術・文化の継承と発展、地域の社会・産業への貢献など高等教育機関に果たす役割がますます重要になっている。また、グローバル化や知識基盤社会が進展し、世界規模で人材の流動が加速する中、国際的に活躍できる人材の育成が急務となっている。</p> <p>こうした中、地域の戦略課題として本市に立地する高等教育機関の機能の充実強化や学術研究機能の集積を推進し、新時代の要請に応える人材を輩出する教育研究機能との連携強化を図るとともに、教育研究成果や新たな技術を生かした知識集約型産業の創出や誘致を推進していく必要がある。</p>				
<p>【2 本市の現状】</p> <p>本市の恵まれた高等教育機関の集積を活かし、学術文化都市形成を総合的に支援するために、山形大学農学部、鶴岡高専、東北公益文科大学大学院、慶應先端研の一層の活性化のための支援を行っている。</p> <p>慶應義塾大学先端生命科学研究所は、I Tとメタボローム解析を駆使した最先端のバイオ研究拠点として、国内外からも注目を浴びる数多くの研究成果を上げるとともに、若年層や優れた人材の育成や定着を図るための取組みとして、地元高校生が最先端の研究プロジェクトに従事する「高校生研究助手任用制度」(H21)や「特別研究生制度」(H23)の特別プログラムを展開するなど、地元の高専生、高校生等を対象とした研究教育活動などにも積極的に取り組んでいる。</p> <p>また、同研究所の高度な教育研究機能により、高等教育機関や公設研究機関、地元企業等の共同研究が数多く行われるとともに、この研究成果からバイオベンチャー企業2社が本市に誕生している。平成25年度には、そのうちの一つであるスパイバー株式会社と共同研究を行っている小島プレス工業株式会社(本社：愛知県豊田市)が市内に試作研究棟を建設するなど、本市が目指すバイオクラスター形成に向け、新たな産業の創出や誘致が期待される動きも見えはじめている。</p> <p>このほか、地域との連携として、地元産の農産物などのメタボローム解析による科学的分析の取組みのほか、平成24年度からは慶應大医学部と連携した取組みとして、将来の鶴岡市民の健康づくりを目的に、市民1万人を対象とした「鶴岡みらい健康調査」がスタートするなど、高等教育機関の集積・充実を基盤とする数多くの地域戦略事業が展開されている。</p>				

【3 主な施策】	
①	<p>(主な取組み)</p> <p>山形大学農学部、鶴岡工業高等専門学校、慶應義塾大学先端生命科学研究所及び東北公益文科大学大学院の教育研究機能の一層の充実を図るとともに、相互の交流や連携を促進します。</p>
	<p>(上記に対する評価)</p> <p>各高等教育機関の先生方より委員の選出を行いながら「知の拠点庄内ワークショップ委員会」を設立し協議を行ってきた。また、高等教育機関の相互の情報共有が欠かせないことから、各高等教育機関の事務担当者による連絡会議を四半期ごとに行っている。</p>
	<p>(今後の方向性)</p> <p>従来の取組みに加え、国の事業である「地(知)の拠点整備事業」などを活用して、相互の連携を促進するとともに地域課題解決及び人材育成を行っていく。</p>
②	<p>(主な取組み)</p> <p>高等教育機関から生み出される研究成果を、地域の農林水産業や商工業等に活用することを促進します。</p>
	<p>(上記に対する評価)</p> <p>国の補助事業「地域イノベーション戦略支援プログラム」の採択を受け、慶應先端研が有する世界最先端のメタボローム解析技術等を活用して、農産物の成分解析、機能性成分を用いた数多くの試作品や新商品を開発するなど、商品や農業の高付加価値化などに一定の成果を上げてきている。</p>
	<p>(今後の方向性)</p> <p>本市に集積する高等教育機関から生み出される研究成果・技術を生かし、新たな国の研究開発プロジェクトの導入を図りながら、地元企業との共同研究や新産業開拓事業を促進するとともに、農林水産業の足腰を強化し得る6次産業化、食品素材の開発に向けた取り組みを推進し、新たな産業創出を図っていく必要がある。</p>

③	<p>(主な取組み)</p> <p>高等教育機関の輩出する人材が地域に定着し、地域の社会、経済、文化を支える環境を整備します。</p>
	<p>(上記に対する評価)</p> <p>慶應先端研等を中核とする世界的な生命科学研究の拠点形成を目指しており、スパイバー社などのベンチャー企業創出などにより、若者の交流人口の増加と定着促、人材集積・育成、関連研究機関や企業集積が図られている。</p>
	<p>(今後の方向性)</p> <p>バイオテクノロジーに関する地域ポテンシャルを活かし、高度な研究開発機能の集積、ベンチャー企業などの創出、既存産業の高度化などの産業振興、人材育成のための事業を実施する。</p>
④	<p>(主な取組み)</p> <p>高等教育機関の集積という知的資源を生かした市民の学習機会や諸活動を拡充します。</p>
	<p>(上記に対する評価)</p> <p>高等教育機関・研究機関が連携し、各機関の先生方を講師として「知の拠点庄内シンポジウム」を23年度から開催している。</p> <p>慶應先端研では、「市民のための生命科学入門講座」、山大農学部では農学紹介講座として「農学の夕べ」、文部科学省の成長分野等における中核的専門人材育成の戦略的推進事業の採択を受け「おしゃべりな畑」を実施。また、公益大学では「公益大イブニングカフェ」、鶴高专では、「市民サロン」や「出前講座」等々を開催し一般社会人向けの学習の場を設定している。</p>
	<p>(今後の方向性)</p> <p>引き続き4つの高等教育機関が連携した、合同シンポジウムを開催するとともに、学術文化都市鶴岡・知の拠点庄内の魅力を市民にPRおよび発信を行う。</p>

⑤	<p>(主な取り組み)</p> <p>高等教育機関を核とする連携協定の締結やコンソーシアムの組織化などにより産学官民が連携協働する仕組みを整備します。</p>
	<p>(上記に対する評価)</p> <p>前山大農学部長の提唱により鶴岡市を高等教育機関の連携による「知の拠点」形成を目指した会議を設置した。4つの高等教育機関の教員からなる「知の拠点庄内ワークショップ委員会」を設立し協議を行ってきた。また、高等教育機関の相互の情報共有するために、各高等教育機関の事務担当者による連絡会議を開催し連携方策を進めている。</p>
	<p>(今後の方向性)</p> <p>4つの高等教育研究機関がそれぞれの専門性・特色を活かして連携して、教育研究活動の活性化を図るとともに、地域の産業振興、文化・学術振興、人材育成などに一層貢献するための効果的仕組みを構築するための調査・研究の推進する必要がある。</p> <p>知の拠点委員会が立ち上がり先生同士の協議の場を継続的に設けているが、今後連携するためのテーマ、具体方策や連携システムの在り方を引き続き検討の必要がある。</p>
⑥	<p>(主な取り組み)</p> <p>既存の高等教育機関の高度で先端的な活動や発展の可能性を核にして、鶴岡バイオサイエンスパークの整備などとも連動させながら、新たな高等教育・研究機関の誘致を促進し、学術研究機能のさらなる集積を図ります。</p>
	<p>(上記に対する評価)</p> <p>平成13年度に開所した慶應義塾大学先端生命科学研究所を核にした、高等教育機関や公設研究機関、ベンチャー企業や大手企業、地元企業等の共同研究が、鶴岡市先端研究産業支援センターの貸室（レンタルラボ）を利用して活発に行われ、現在に至るまで数々の研究成果を上げてきている。年々、慶應先端研との共同研究の進捗・拡大や関連ベンチャーの事業拡大等により貸室が満杯状況となったため、平成23・24年度には貸室の施設拡張整備を行い、新たな研究プロジェクトやベンチャー企業等の事業拡大に対応してきた。</p>
	<p>(今後の方向性)</p> <p>引き続き、メタボローム解析技術などを有する慶應先端研や成長が期待されるバイオベンチャー企業を地域戦略の最大の武器としながら、鶴岡市先端研究産業支援センターの貸室（レンタルラボ）の提供などを通じて、高等教育機関や公設研究機関、企業との共同研究を促進するとともに、共同研究から企業立地誘導につながる取り組みへの展開とバイオサイエンスパーク整備に向けた新たな検討を行っていく。</p>

【4 主な課題】

4つの高等教育研究機関がそれぞれの専門性・特色を活かして連携して、教育研究活動の活性化を図るとともに、地域の産業振興、文化・学術振興、人材育成などに一層貢献するための効果的仕組みを構築するための調査・研究の推進が必要である。

章	3	節	3	地域のなかでの人づくり
細節	(1)	生涯学習を通じた人づくり、地域づくり		
【1 社会情勢】				
インターネット等の情報技術の発達により、情報収集量、学習機会が増加し、生涯学習の理念の一つである「あらゆる機会にあらゆる場所で学ぶことができる」環境が充実する一方、人と人が交わる機会が減少している。				
【2 本市の現状】				
情報技術の活用等により、市民が様々な学習情報、学習機会を得ることが容易になる一方、価値観の多様化や就業形態の多様化等に伴い、学習ニーズに対応した講座等の実施が難しくなっている。また、趣味、教養等共通の目的を通じた繋がりは広がっているが、地縁、地域における繋がりの希薄化が進んでいる。				
【3 主な施策】				
(主な取組み)				
趣味や教養に関する講座、キャリアアップ講座など、多様な市民ニーズに応える学習情報や学習機会を提供します。				
(上記に対する評価)				
①	中央公民館、地区公民館等において、趣味や教養に関する各種講座、キャリアアップ講座等を開催し、多くの参加者を得ている。			
(今後の方向性)				
市民の学習ニーズを把握しながら、より多くの市民が参加する講座等を実施するように務める。				
(主な取組み)				
自然や歴史、伝統文化などの地域学習をはじめ、学びが暮らしや地域における様々な課題の克服など社会的な活動に結びつくように学習活動を支援します。				
(上記に対する評価)				
②	地域の歴史や文化など、地域に目を向けた講座を開設し、多くの参加者を得ているが、地域課題に関する講座は少ない。			
(今後の方向性)				
地域の実態を把握しながら、地域課題の解決に向けた講座等の開催に務める。				

<p>(主な取組み)</p> <p>子どもや若者をはじめとする各世代に対応した学習や、世代を超えた自然体験、交流を促進し、よりよい人間関係を構築する機会を創出します。</p>
<p>(上記に対する評価)</p> <p>③ 自然体験、宿泊体験、ボランティア体験等を通じて、社会力の向上、生きる力の向上が図られている。</p>
<p>(今後の方向性)</p> <p>学校、住民自治組織等と連携しながら、引き続き青少年の体験活動、交流活動を推進していく。</p>
<p>(主な取組み)</p> <p>学習成果が個人の自立意識の向上や地域貢献意欲につながる学習プログラムの充実を図ります。</p>
<p>(上記に対する評価)</p> <p>④ 趣味、教養等に関する講座を通じて、個人の知識、技術等の充実が図られるとともに、学びを通じた仲間づくりは進んでいるが、地域貢献活動に結びつく例は少ない。</p>
<p>(今後の方向性)</p> <p>市民の学習ニーズ、地域課題を把握しながら、より多くの市民が参加するとともにその成果が地域貢献、地域課題の解決につながる講座等の開催に務める。</p>
<p>【4 主な課題】</p> <p>人口減少、情報技術の発達、価値観の多様化が進む中、人と人が交流しながら学習する機会を設けても、参加者がなかなか集らなくなっており、その対応が課題である。</p>

章	3	節	3	地域のなかでの人づくり
細節	(2)	社会教育施設等の充実		
<p>【1 社会情勢】</p> <p>教育振興基本計画では、「公民館をはじめとする社会教育施設について、地域が抱える様々な教育課題への対応や社会の要請が高い分野の学習など地域における学習の拠点、さらには人づくり・まちづくりの拠点として機能するよう促す」こととされており、学習施設であると共に、地域の拠点施設としての役割が期待されている。</p>				
<p>【2 本市の現状】</p> <p>鶴岡地域においては、昭和 50 年代に概ね小学校区単位の地区公民館をコミュニティセンターに移行（及び新たに整備）し、学習活動、福祉活動、環境活動、防災活動等総合的な地域の拠点施設として活用してきた。</p> <p>今後、藤島地域、羽黒地域、朝日地域についても、地域コミュニティの維持・活性化に向けて地区公民館を（仮）地域活動センターに移行し、地域の総合拠点施設として活用する。</p>				
<p>【3 主な施策】</p>				
<p>(主な取組み)</p> <p>誰もが公民館や図書館などの身近な施設で学習機会や仲間づくり活動など必要な情報を得ることができるよう、施設設備のネットワークを充実します。</p>				
<p>(上記に対する評価)</p> <p>① 図書館は、本館・分館をネットワーク化し、どの館でもすべての蔵書を借り、返却できるようになっており、市民の読書推進に効果を挙げているが、中央公民館、地区公民館、コミュニティセンターについては、情報交換、事業連携にとどまっている。</p>				
<p>(今後の方向性)</p> <p>図書館ネットワークの充実を図るとともに、中央公民館、地区公民館（(仮) 地域活動センター）、コミュニティセンターとの情報交換、事業連携と市民への学習情報の提供の充実に努める。</p>				

	<p>(主な取り組み)</p> <p>公民館や青少年・女性施設などにおける生涯各期の学習活動や世代交流事業などを推進するとともに、学校、家庭や地域と連携した活動を支援します。</p> <p>(上記に対する評価)</p> <p>中央公民館、女性センター、青年センターの統合により、世代間交流事業（こども体験フェア・文化祭）等の充実が図られている。</p> <p>② 地区公民館、コミュニティセンターでは、地域住民が主体となった学習活動、交流活動を実施するとともに、学校と連携した学習活動を実施しており、地域コミュニティの醸成に役立っている。</p> <p>(今後の方向性)</p> <p>従来各種講座等を充実させると共に、これまで参加が少ない若者や、男性を対象にした事業の企画や、地域で子どもと大人が交流する事業等の企画に努める。</p>
	<p>(主な取り組み)</p> <p>住民が主体的に地域づくりに参加することができる仕組みづくりを推進し、これを担う人材の育成と、施設機能の充実を図ります。</p> <p>(上記に対する評価)</p> <p>公民館、コミュニティセンター等においては、部会制、実行委員会制等により各種事業等の企画運営に地域住民が参画する仕組みを取り入れるとともに、人材の育成のために、研修会の開催、研修会への派遣を積極的に行なっている。</p> <p>③ 図書館、公民館、コミュニティセンターいずれも多く施設において老朽化が進んでおり、施設機能の充実に向けて予算の範囲内で、緊急度の高いものから修繕等を行っているが、対応が追いつかない状況にある。</p> <p>(今後の方向性)</p> <p>藤島、羽黒、朝日地域の地区公民館を（仮）地域活動センターとし、住民がより主体的に学習活動、地域づくりに参画できるようにする（住民自治組織が指定管理者となる）。</p> <p>併せて、施設機能の適切な整備と維持管理に努める。</p>
	<p>【4 主な課題】</p> <p>藤島、羽黒、朝日地域における広域コミュニティ組織の形成と地区公民館の（仮）地域活動センターへの移行（直営から地域住民自治組織による運営へ）にあたり、地域づくりの基本となる社会教育・生涯学習の推進にかかる、行政支援、指導のあり方の検討が必要。</p> <p>国の子ども読書活動推進計画に伴って市の計画策定が急がれているところである。また、歴史的文書の保存施設としての郷土資料館の存在がますます重要となっており、保存資料の整理及び保存スペースの確保が急務である。</p>

章	3	節	3	地域のなかでの人づくり
細節	(3)	地域社会で子どもを育てる環境づくり		
<p>【1 社会情勢】</p> <p>家庭教育は、すべての教育の出発点であり、子どもの基本的な生活習慣、倫理観、自立心、自制心等を身につける上で重要な役割を果たすものである。しかしながら、核家族化、地縁的な繋がり希薄化等により、保護者が身近な人から子育てを学ぶ機会が減少し、社会全体で家庭教育を支援する必要性が高まっている。</p>				
<p>【2 本市の現状】</p> <p>三世同居率が高い本市においても、核家族化、地縁的な繋がり希薄化や就業形態の多様化等が進んでおり、子育て、家庭教育に関する悩みを抱える保護者が増えている。</p> <p>また、少子化、過疎化、子どもたちの校外活動（スポーツ少年団、習い事等）の活発化等により、放課後に地域で子ども同士が交流する機会が少なくなっている。</p>				
<p>【3 主な施策】</p>				
<p>(主な取り組み)</p> <p>乳幼児期からの一貫した子育て教育の実践や親たちが意欲を持って子育てに取り組んでいくための学習の機会や情報の提供、相談活動を展開します。</p>				
<p>(上記に対する評価)</p> <p>保育園、幼稚園を会場に、子育てに関する学習会、講演会、相談会等を開催し、子育てに関する情報の提供、保護者同士の仲間づくりを推進している（市単独及び国・県補助事業）。</p> <p>① また、全市の保護者、保育関係者等を対象にした家庭教育講演会を開催。参加者が増加すると共に、男性・夫婦での参加が増えるなど、家庭教育への関心の高まりが感じられる。</p>				
<p>(今後の方向性)</p> <p>引き続き、保育園、幼稚園での子育て講座等の開催を推進し、保護者のニーズにあった情報、学習機会の提供を行なうと共に、全市を対象とした専門家による講演会等を開催していく。</p>				

	<p>(主な取組み)</p> <p>孤立しがちな親へのアプローチとして、小学校区程度の身近な地域において、家庭教育講座や子育てグループ活動へ参加できる環境を整備します。</p> <p>(上記に対する評価)</p> <p>小・中学校を会場に、家庭教育に関する学習会、講演会、情報交換会等を開催し、家庭教育に関する情報の提供、保護者同士の仲間づくりを推進している（市単独及び国・県補助事業）。保護者がより多く集まる機会を活用し、PTA 事業や学校事業と連携して開催しているが、参加者は伸び悩んでいる。</p> <p>(今後の方向性)</p> <p>学校と連携を図り、より多くの保護者が参加する学習機会を検討するとともに、公民館やコミュニティセンターで、家庭教育に関する事業や子育てグループの活動支援を推進する。</p>
②	<p>(主な取組み)</p> <p>地域に対する愛着を高めるため、地域の人たちの体験や知恵が子育てに生かされる場づくりや異なる年齢や世代が交流する取組みを推進します。</p> <p>(上記に対する評価)</p> <p>9小学校区で「放課後子ども教室（国・県補助事業）」を実施しており、放課後にコミュニティセンター、学校、公民館において、地域の大人の指導、見守りの元、子どもたちは学年を超えて、自由な活動や（スポーツ、レクリエーション等）、学習、茶道、華道、手芸、野外観察等を通して、社会力を向上させている。</p> <p>(今後の方向性)</p> <p>放課後子ども教室事業の充実を図る。また、公民館、コミュニティセンターにおける生涯学習の推進の中で、地域の資源を生かし、子どもたちの地域に対する愛着を高めると共に、地域の人たちの生きがいづくりに繋がる交流活動等を推進する。</p>
	<p>【4 主な課題】</p> <p>家庭教育の重要性が高まる一方で、関心が薄い保護者や育児・家庭教育の放棄、虐待等も増加の傾向にある。このような保護者の多くは、学習会、交流会等には参加しないことから、情報提供、支援の方法が難しい。</p>

章	3	節	3	地域のなかでの人づくり
細節	(4)	豊かな自然のなかでの子どもの育成		
<p>【1 社会情勢】</p> <p>国立青少年教育振興機構の調査によると、「子どものころに自然体験などの活動が豊富な人ほど、規範意識や、意欲、関心が高い傾向にある」とされているが、子どもたちの自然体験等は、年々減少している。</p>				
<p>【2 本市の現状】</p> <p>自然環境に恵まれた本市においても、子どもたちが自然の中で活動する機会は年々減少している。加えて、子ども会活動、地域活動においても、少子化や子どもたちの多忙化、保護者の就業形態の多様化等により、キャンプ、川遊び、海水浴、農業体験等の機会が減っている。</p>				
<p>【3 主な施策】</p>				
<p>(主な取組み)</p> <p>学校や地域での活動において、森林、海浜、田園など地域の自然に親しみながら学び体験する機会を積極的に設けます。</p>				
<p>(上記に対する評価)</p> <p>各小学校において自然教室を実施。自然の中での活動、共同生活等を通して、自然に対する関心、愛着、命の重要性等を学んでいる。また、学校、地域が連携し、学校</p> <p>① の授業や地域事業の中で、稲作、畑作等の体験を通して、自然、農業、地域に対する愛着を醸成している。</p> <p>大鳥自然の家では、周辺の自然を活用した体験学習を実施。幼児から大人まで幅広い市民が自然体験を楽しんでいる。</p>				
<p>(今後の方向性)</p> <p>引き続き、学校における自然教室、地域と連携した体験学習等を実施するとともに、大鳥自然の家等を活用した自然学習を推進する。</p>				
<p>(主な取組み)</p> <p>海洋生物に直接親しむことができる貴重な学習拠点である加茂水族館を改築整備します。</p>				
<p>(上記に対する評価)</p> <p>② 展示内容の充実、レクチャールームの設置など学習拠点となる水族館として、平成24年10月に着工し、整備を進めている。</p>				
<p>(今後の方向性)</p> <p>平成26年6月のオープンに向け着実に準備を進める。オープン後においては、海を多面的に活用するレクリエーション施設および生涯学習・教育・研究施設として学習活動を推進する。</p>				

【4 主な課題】

大鳥自然の家は、森林文化都市構想の中核的施設として、運営体制の整備等を図る必要がある（運営については、地域住民組織が指定管理者になる予定であるが、高齢化が進んでいることなどから、社会教育施設としての機能を十分発揮できる体制、人材の確保が必要）。

加茂水族館の改築については敷地が狭隘であるため、オープン直後・繁忙期等の駐車場の確保・渋滞対策が課題となっている。

章	3	節	3	地域のなかでの人づくり
細節	(5)	男女共同参画の推進		
<p>【1 社会情勢】 ※策定当初からの変化や踏まえるべき事項について記載</p> <p>国では平成 23 年度からの 10 年間で第 3 次男女共同参画基本計画の実施期間としている。この中で、経済社会情勢の変化等に対応して、「男性、子どもにとっての男女共同参画」「貧困など生活上の困難に直面する男女への支援」等の重点分野を新設し、平成 32 年に指導的地位に女性が占める割合を 30%程度とする等具体的な成果目標を設定して取組を推進することとしている。</p>				
<p>【2 本市の現状】 ※策定当初から変化していることや推移などについて、主要なデータを引用するなどして記載</p> <p>平成 23 年 3 月に市男女共同参画計画を策定し、庁内推進会議や推進懇談会の推進体制により、平成 24 年度から具体的取組の実施及び確認を行っている。</p> <p>いわゆる「M字カーブ」を描く女性の年代別就業率は、底となる 30～34 歳が平成 17 年の 78.1%から平成 22 年では 78.7%と 0.6 ポイント上昇している（ただし、同じ層の男性は 93.4%から 89.9%に低下している）。</p>				
<p>【3 主な施策】 ※基本計画にある「主な施策」ごとにこれまでの主な取組内容を記載</p>				
<p>(主な取組み)</p> <p>本市の特性を生かした男女共同参画計画を策定するとともに、市民の活動事例などの情報提供を行いながら、男女共同参画に関する意識を高めます。</p>				
<p>(上記に対する評価)</p> <p>① 平成 23 年 3 月に男女共同参画計画を策定し、市ホームページに男女共同参画の情報発信サイトを新設しており、イベント・募集や相談窓口等各種情報提供しているが、掲載情報量や更新頻度が少なく課題となっている。</p>				
<p>(今後の方向性)</p> <p>計画の進捗状況に関する情報発信、市広報での特集記事や機関紙の発行について検討するなど、引き続き普及啓発に努める。</p>				

	<p>(主な取り組み)</p> <p>家庭や学校、社会教育・生涯学習を通じて、男女共同参画の理念等について市民へ浸透を図ります。</p> <p>(上記に対する評価)</p> <p>② P T A研修会や就学時検診等の機会を活用した家庭教育支援講座、イクメン講座、男性料理教室等男女共同参画に関連する様々な事業を着実に実施しており、参加者からはいずれも概ね好評を得ている。</p> <p>(今後の方向性)</p> <p>開催時期や事業内容、対象などニーズに合わせて検討を加えながら継続実施していく。</p>
	<p>(主な取り組み)</p> <p>地域活動などへの女性の積極的な参画を促進します。</p> <p>(上記に対する評価)</p> <p>③ 婦人会や防犯協会、交通安全母の会への財政支援を行い、組織化や女性リーダーの育成を支援しており、地域の安全安心に対する効果等を得ている。</p> <p>(今後の方向性)</p> <p>従来 of 事業に加え、市内における地域や分野の垣根を越えた女性のネットワーク形成を図るため、異分野の女性グループメンバーを集めた交流を実施するなど、引き続き促進する。</p>
<p>【4 主な課題】 ※策定当初からの状況変化を踏まえた現在の主な課題を記載</p> <p>鶴岡市男女共同参画計画に掲げた取り組みを確実に実施すること。また実施したことによって女性の就業率の向上や出生率の向上、市民の男女共同参画に対する意識の醸成にどの程度寄与したかを評価すること。</p>	

章	3	節	4	芸術の振興と文化資源の保存継承
細節	(1)	市民の芸術活動の環境の充実		
<p>【1 社会情勢】</p> <p>我が国の劇場、音楽堂等については、これまで主に、施設の整備が先行して進められてきたが、平成24年6月27日、今後は、施設で行われる実演芸術に関する活動の支援や、事業を行うための人材養成等の強化、地方における多彩な実演芸術に触れる機会の少なさ等、現状を改善していく必要があることから、「劇場、音楽堂等の活性化に関する法律」が施行された。また、この法律に基づき、劇場、音楽堂等の事業の活性化を図るため、設置者又は運営者が取り組むべき事項等を定めた指針が平成25年3月に策定された。</p>				
<p>【2 本市の現状】</p> <p>市内6地域の芸術文化団体の共催による鶴岡市芸術祭の開催や各地域の文化祭等の開催、鑑賞機会の提供など各種事業を実施するとともに、芸術文化団体の活動を支援し、育成を図っている。</p> <p>また、鶴岡アートフォーラムにおいて、市民ギャラリーとしての活用や内外の美術紹介、子どもから大人まで市民が創作活動に親しめる講座などを実施している。</p> <p>更には、舞台芸術分野における芸術文化活動の拠点を整備するため、平成23年度に策定した鶴岡市文化会館整備基本計画に基づき、市民の多様な文化活動を支え、担い手を育み、芸術文化性を高めるため、文化会館の改築整備を進めている。</p>				
<p>【3 主な施策】</p> <p>(主な取り組み)</p> <p>市民の芸術文化活動の発表の機会となる芸術祭や文化祭を通し全市的交流を促進します。</p> <p>(上記に対する評価)</p> <p>① 合併後、鶴岡市芸術祭は、市内6地域の芸術文化団体との共催により毎年実施している。昨年度は、46公演、63団体の参加により開催され、入場者ものべ約4万人という実績になっており、全市的な広がりが進んでいる。</p> <p>(今後の方向性)</p> <p>芸術文化活動の全市的交流を促進するため、市内6地域の芸術文化団体の統合を促し、さらに、全市的一体感を醸成する。</p>				

	<p>(主な取組み)</p> <p>文化施設、社会教育施設など公共施設や民間施設の活用を進め、練習、発表の場の拡充を図ります。</p>
②	<p>(上記に対する評価)</p> <p>芸術文化団体などが、練習や発表などで公共施設を使用する場合、使用料の減免や日程調整など、定期的な使用ができるように配慮するとともに、施設の利用状況や概要を市ホームページなどで情報提供することで、練習、発表の場の拡充が図られた。</p>
	<p>(今後の方向性)</p> <p>今後も活動の助長を図るため、公共施設の使用料減免や日程調整など、市民ニーズに対応していく。また、平成28年度に開館する新文化会館についても、市民が利用しやすい施設にするため、利用の申込や調整、料金設定など、わかりやすいシステムを設けたい。</p>
	<p>(主な取組み)</p> <p>本市唯一の本格的な舞台ホールである文化会館へのニーズの増大と老朽化に対応するため、文化都心である中心市街地地区に現代的な機能を備えた文化会館を改築整備するとともに、国内外の優れた芸術の鑑賞機会の充実を図ります。</p>
③	<p>(上記に対する評価)</p> <p>平成23年度に策定した「鶴岡市文化会館整備基本計画」に基づき、新たな芸術文化の拠点として、平成28年度の開館に向け、計画どおりに改築整備を進めている。</p> <p>現在は、貸館を主としているため、自主事業がほとんどなく、優れた芸術の鑑賞機会が少ない状況にある。</p>
	<p>(今後の方向性)</p> <p>建物本体の整備とともに、鑑賞機会の充実のため、新文化会館で実施する事業などを具体的に計画していく。</p>
	<p>(主な取組み)</p> <p>市民ニーズにあった鑑賞機会などを提供するため、市民や団体が主体的に企画、展開する事業への支援の充実を図ります。</p>
④	<p>(上記に対する評価)</p> <p>市芸術祭や地域の文化祭、山形交響楽団定期演奏会、致道博物館展示事業など、市民や団体が主体的に企画・展開する事業への支援を続けている。</p>
	<p>(今後の方向性)</p> <p>新文化会館の管理運営計画を策定し、実施する事業や運営体制、市民のかかわり方などを盛り込み、より市民ニーズに対応した事業を展開する。また、市民や団体が主体的に企画・展開する事業への支援の充実を検討していく。</p>

(主な取組み)

合唱や器楽、美術などの分野で、児童生徒を対象に、内外の優れた指導者による講習や体験機会を設けるなど子どもたちの感性を伸長し、レベルアップをめざす取組みを進めます。

(上記に対する評価)

- ⑤ 小・中・高校生を対象とした合唱や器楽の講習会などに支援を続けており、昨年度、市内の県立高校吹奏楽研究会が初めて全国大会に出場するなどの成果が得られている。

この他にも、アートフォーラムにおいて、陶芸体験教室やアトリエの無料開放など、子どもたちが体験できる機会を提供している。

(今後の方向性)

子どもたちの感性を伸長し、レベルアップを図るために、合唱、器楽、美術等の講習や体験機会提供等、引き続き必要な支援を行う。

【4 主な課題】

文化会館の改築整備について、整備基本計画に基づいて、平成28年の開館を目指して着実に進めること。

また、市民や芸術文化団体等の意見も参考にしながら、文化会館管理運営計画を策定し、市民主体の芸術文化活動を一層促進するための事業運営を行うこと。

章	3	節	4	芸術の振興と文化資源の保存継承
細節	(2)	伝統文化の継承と文化資源の保存研究		
<p>【1 社会情勢】</p> <p>東日本大震災の後、歴史を象徴する貴重な建造物を保存することや、地域の伝統文化を継承していくことが、地域コミュニティの活性化に果たす大きな役割を担うものとして見直されている。</p> <p>国の施策としても、有形無形の文化財の指定、文化的景観等の選定、有形文化財の登録など、国が指定等を行った文化財については、その種類に応じて、修理等に対する国庫補助を行うなど、保存及び活用のために必要な措置が講じられてきた。また近年は、地域の文化遺産を活かした地域活性化事業や、歴史的風致維持向上計画策定による各種の補助事業の活用等、様々な形で、伝統文化の継承に対する新たな施策が講じられている。</p>				
<p>【2 本市の現状】</p> <p>本市には、155 件の民俗芸能とその他多くの伝統行事等が継承されており、それらを守り伝えるために 100 以上の保存団体が組織され、伝統文化の継承に努めている。</p> <p>また、多くの貴重な建造物や歴史資料等の文化資源の調査研究及び保存継承のために、市と所有者が、それぞれに事業の実施等に努めているとともに、その活用も図られている。</p> <p>しかしながら、伝統文化の継承については、人口減少や就業形態の変容等の社会情勢の変化によって、担い手となる後継者の育成が課題となっている。一方貴重な建造物の中には、所有者の高齢化、後継者不在などにより、保存継承が難しくなっているものがある。また、文化資源の保存継承のためには、研究者、技術者等の育成も急務であり、各種の取組みを一層推進していくことが求められている。</p>				

【3 主な施策】	
	<p>(主な取組み)</p> <p>文化的特色と地域社会の維持に大きな役割を果たしている伝統芸能の担い手の育成を積極的に支援します。</p>
	<p>(上記に対する評価)</p> <p>無形民俗文化財の保存継承団体に対して、補助金等の支援を行うとともに、様々な民間の助成事業や活動の場の情報の提供を行っている。</p>
①	<p>平成 23、24 年度には、伝統芸能保存団体の実態把握のため調査を行った。その結果、継承地域の人口減少や就業形態の変化による後継者不足等により、内容の簡略化や伝統行事を休止せざるを得ないなど、保存継承が困難になっている団体もあり、新たな支援策を検討することが課題となっている。</p>
	<p>(今後の方向性)</p> <p>市内にある多くの保存継承団体の情報共有の場、発表の場を設けるなど、各団体が連携し、高めあって継承していけるような活動の支援、また各団体が抱える問題の新たな解決策等を検討しながら、保存継承に努める。</p>
	<p>(主な取組み)</p> <p>歴史を象徴する貴重な建造物について、民間と連携しながら保存活用を図ります。</p>
	<p>(上記に対する評価)</p> <p>指定文化財建造物については、国、県、市の補助制度を活用し、所有者、管理者と連携しながら、その保存継承に努めている。また、それらの建造物については、施設の保存継承だけでなく展示公開等を行なうなど活用が図られている。</p>
②	<p>歴史を象徴する貴重な建造物であっても指定を受けていない場合は、既存の補助金制度では支援できないものもあり、その保存継承のための支援のあり方について課題となっている。</p>
	<p>(今後の方向性)</p> <p>指定文化財建造物については、継続して補助金等の支援をしながら保存活用に努める。またその他の歴史を象徴する貴重な建造物についても、所有者、管理者と連携をとり、様々な補助制度の情報提供等の支援に努めるとともに、活用も検討しながら、保存継承に努める。</p>

(主な取組み)

地域で継承されてきた歴史資料や生活文化、文学に関する資料を調査し、保存しながら研究し、その価値を住民に還元していくための調査研究体制を構築整備するとともに、拠点となる資料館の機能拡充や文学館の整備を推進します。

(上記に対する評価)

郷土資料館においては、地域の歴史資料の収集及びデジタル化、またそれらの資料の調査研究、保存及び展示公開に努め、機能の拡充を図っている。

大宝館においては、人物資料館として、人物調査、資料の収集、展示による顕彰を行っている。

また、文学に関しては、藤沢周平氏の業績と藤沢文学を後世に継承するとともに、作品に描かれている本市の自然・歴史・文化に触れて、作品をより豊かに味わい深める拠点施設として、平成 22 年 4 月 29 日に藤沢周平記念館を開館し、以来、3 年間で来館者数は 178,210 人となっている。(平成 22 年度 : 94,296 人・平成 23 年度 48,352 人・平成 24 年度 35,562 人) 記念館の設置目的でもある「藤沢文学」と作品に描かれている鶴岡・庄内の文化や風土などを内外に広く情報発信することができた。

③

併せて、企画展と連動したソフト事業についても毎回多くの参加があり、終了後のアンケートを見ても概ね高い評価となっている。

さらに、公益財団法人致道博物館が取り組んでいる郷土の歴史資料等の文化資源調査保存事業について、補助金交付等の支援を行っており、25 年 3 月には、その成果として「大泉叢誌」の第一巻が刊行され、貴重な郷土史の資料として活用されることが期待される。

(今後の方向性)

城下町として歴史も古く、市域も広域で、継承していくべき歴史資料や生活文化、文学に関する資料が膨大であり、その調査研究については、長期的な取組みとして行う必要があるため、継続的な事業実施と支援に努めていく。

なかでも藤沢周平記念館においては、これまで積み重ねてきた実績や経験をもとに、藤沢文学の作品世界を魅力的に紹介する展示活動を展開していく。

また、公益財団法人致道博物館等の民間で行っている調査研究の支援や、関係部署が連携して文化資源の調査保存に努めるとともに、市民にも普及啓発を図っていく。

(主な取組み)

出羽三山の自然、歴史や文化について、総合的な学習や研究を進める体制を整備するとともに、世界遺産への取組みを推進します。

(上記に対する評価)

- ④ 山形県として「出羽三山と最上川が織りなす文化的景観」の世界遺産登録に取り組んでいたが、認定も厳しく長い年月がかかることから、2009 年に取組みを見直したため、体制整備も図られていない。

(今後の方向性)

出羽三山の自然、歴史や文化については、市の関係課、また各関係団体と連絡調整を行いながら、観光、地域振興、文化財等の観点で、それぞれに事業を行ない、観光振興、地域活性化、保存継承の取組みを継続していく。

【4 主な課題】

伝統文化の継承と文化資源の保存研究のために、国、県及び民間の支援事業を活用しながら、行政と市民が協働で事業に取り組んでいくことが必要である。また、実施すべき内容が広範囲で長期に亘っており、必要な事業についても大規模なものから小規模なものまで様々であるため、きめ細かな取組みが必要であるとともに、長期的視点を持つことが必要である。

章	3	節	5	市民スポーツの振興
細節	(1)	市民の健康・生涯スポーツの場の形成		
<p>【1 社会情勢】</p> <p>国のスポーツ基本計画（平成 24 年度から 10 年間程度を見通した計画としつつ、概ね 5 年間に総合的かつ計画的に取り組むスポーツ施策を体系化した計画）及び県のスポーツ推進計画（平成 25 年 3 月策定）「スポーツ基本計画」において、「ライフステージに応じたスポーツ活動の推進」「住民が主体的に参画する地域のスポーツ環境の整備」をその基本方針のひとつとしている。</p>				
<p>【2 本市の現状】</p> <p>総合型地域スポーツクラブ数は、H21 年度 9 組織から H24 年度 10 組織となっている。里山歩きコース数は、H21 年度 14 から H24 年度 20、同参加者数は、1,211 人から 1,647 人となっている。</p>				
<p>【3 主な施策】</p>				
<p>(主な取組み)</p> <p>子どもから高齢者までの健康や体力づくり、青少年の育成、交流の拡大など、市民が様々な課題や活動理念を共有しながら自主的に運営できる総合型地域スポーツクラブを育成します。</p>				
<p>(上記に対する評価)</p> <p>本市の9クラブは、いずれも、クラブマネージャーを中心に主体的に活動を展開しているが、一部のクラブは他から人的協力を得ながらの運営となっている。また、ほとんどのクラブは、補助金(市単独・toto 助成)を受けながらの運営となっている。クラブの自立した運営が課題となっている。</p>				
<p>① (今後の方向性)</p> <p>子どもから高齢者までライフステージに応じたスポーツ活動を推進するため、今年度策定する市スポーツ推進計画に施策を定め取り組む。また、子どもがスポーツに親しむ機会の充実を目指した施策も推進していく。</p> <p>身近に気軽にスポーツに親しめる場を提供する総合型地域スポーツクラブについては、その運営の中心であるクラブマネージャーの育成を図ることによって教室展開の内容充実や会員増による経営の安定化が図られることから、引き続きその育成に努めるとともに各クラブの活動を支援する。</p>				

	<p>(主な取組み)</p> <p>多くの市民が参加し、楽しみ、交流できるスポーツイベントを自主的に開催し、運営できる人材や団体を育成します。</p>
②	<p>(上記に対する評価)</p> <p>各学区・地区・地域体育協会は、地域において、年間を通し各種スポーツイベントを開催している。また、鶴岡地域の21学区・地区体育協会で構成される鶴岡地区体育協会は、シルバーレクスポ大会を開催している。これらのイベントは、参加者から概ね好評を博している。</p> <p>鶴岡市スポーツ推進委員は、市の事業への協力の他、これら地域の事業にも積極的に協力しており、その運営の大きな力となっている。</p>
	<p>(今後の方向性)</p> <p>引き続き地域における生涯スポーツの各種事業を行う学区・地区・地域体育協会の活動を支援していくとともに、スポーツ推進員をはじめとする地域の人材・団体の育成に努める。</p>
③	<p>(主な取組み)</p> <p>健康づくりや交流の拡大などに効果があり、誰もが楽しみながら地域の自然や文化に触れることができる、ウォーキングや里山あるきなどの普及、振興を図ります。</p> <p>(上記に対する評価)</p> <p>50万歩への挑戦(4か月間で50万歩を目指す)ノートは、配布開始直後から窓口を訪れる市民が多く、全冊配布完了となる時期が毎年早まるなど、市民へ広く浸透してきている。また、50万歩達成者も、毎年増加傾向にある。</p> <p>里山あるきは、25コースの設置を目指し、ほぼ毎年のように新たなコースを設定してきたところであるが(25年度:25コース設定)、いずれのコースについても、参加者から概ね好評を博している。</p> <p>(今後の方向性)</p> <p>新規参加者が増えるような内容を検討しながら、また、定員オーバーにより参加できない方ができるだけ少なくなるような運営方法等を検討しながら、併せてリピーターが楽しめるようにコース設定に配慮しながら継続実施していく。</p>
	<p>【4 主な課題】</p> <p>普段、運動・スポーツに親しんでいない人に日常的に、また、自主的に運動・スポーツに取り組んでいただけるようにすること。</p>

章	3	節	5	市民スポーツの振興																								
細節	(2)	地域の活力となる競技スポーツの振興																										
<p>【1 社会情勢】</p> <p>国のスポーツ基本計画（平成 24 年度から 10 年間程度を見通した計画としつつ、概ね 5 年間に総合的かつ計画的に取り組むスポーツ施策を体系化した計画）においては「国際競技力の向上」を、県のスポーツ推進計画（平成 25 年 3 月策定）においては「競技力向上に向けた人材の養成やスポーツ環境の整備」をその基本方針のひとつとしている。</p>																												
<p>【2 本市の現状】</p> <p>平成 24 年度 国際大会 3 位以内・全国大会優勝</p> <table border="0"> <tr> <td>チーム・団体</td> <td>野球</td> <td>: KB 東日本中学生野球大会(鶴岡ドリームス)</td> <td>1 位</td> </tr> <tr> <td></td> <td>卓球</td> <td>: ベトナムゴールデンラケット大会(本市選手 1 人)</td> <td>3 位</td> </tr> <tr> <td>個人</td> <td>ウエイトリフティング</td> <td>: 全日本選手権大会 69Kg 級</td> <td>1 位</td> </tr> <tr> <td></td> <td>水泳</td> <td>: 全国高等学校総合体育大会</td> <td>1 位</td> </tr> <tr> <td></td> <td>アマチュアレスリング</td> <td>: 全日本マスターズ選手権大会 97Kg 級</td> <td>1 位</td> </tr> <tr> <td></td> <td>剣道</td> <td>: 全国高校生優勝大会</td> <td>1 位</td> </tr> </table>					チーム・団体	野球	: KB 東日本中学生野球大会(鶴岡ドリームス)	1 位		卓球	: ベトナムゴールデンラケット大会(本市選手 1 人)	3 位	個人	ウエイトリフティング	: 全日本選手権大会 69Kg 級	1 位		水泳	: 全国高等学校総合体育大会	1 位		アマチュアレスリング	: 全日本マスターズ選手権大会 97Kg 級	1 位		剣道	: 全国高校生優勝大会	1 位
チーム・団体	野球	: KB 東日本中学生野球大会(鶴岡ドリームス)	1 位																									
	卓球	: ベトナムゴールデンラケット大会(本市選手 1 人)	3 位																									
個人	ウエイトリフティング	: 全日本選手権大会 69Kg 級	1 位																									
	水泳	: 全国高等学校総合体育大会	1 位																									
	アマチュアレスリング	: 全日本マスターズ選手権大会 97Kg 級	1 位																									
	剣道	: 全国高校生優勝大会	1 位																									
<p>【3 主な施策】</p> <p>(主な取組み)</p> <p>中学校、高等学校の運動部活動や競技団体などが連携をとりながら、一貫した選手の育成ができる環境を整備します。</p> <p>(上記に対する評価)</p> <p>① 一貫した指導体制が敷かれている種目においては、複数の指導者が情報を共有しながら指導できることや、学校の枠を超えて練習することにより選手にいい刺激が生まれレベルアップすることもあり、全国大会等で活躍する選手が多く輩出されている。他の競技においても、指導体制の充実強化を図っていくことが課題である。</p> <p>(今後の方向性)</p> <p>競技力向上に向けた施策については、今年度策定する市スポーツ推進計画において定め推進していく。</p> <p>競技団体による中学校・高校から一般まで、一貫した選手の育成体制構築に向け、その支援を行う鶴岡市スポーツ強化後援会と連携を取りながらその活動を強化していく。</p>																												

②	<p>(主な取組み)</p> <p>国際的、全国的な活躍を念頭に置いた地元選手の競技力の向上、強化を担う組織の育成を図ります。</p>
	<p>(上記に対する評価)</p> <p>本市の競技力向上を担う鶴岡市スポーツ強化後援会の財政的支援等により、競技力向上の取組みを行う各競技団体の育成が図られている。</p>
	<p>(今後の方向性)</p> <p>国際的、全国的な活躍が期待される団体・個人の強化が更に図られるような体制が構築されるよう、各競技団体への支援方法等の検討並びに支援の実施を鶴岡市スポーツ強化後援会に依頼し、引き続き同後援会の活動を支援していく。</p>
③	<p>(主な取組み)</p> <p>競技の普及やトップアスリートの育成を担う指導者の研修機会を拡充し、指導者の資質の向上と活動の充実を図ります。</p>
	<p>(上記に対する評価)</p> <p>本市の競技力向上を担い、本市が支援している鶴岡市スポーツ強化後援会においては、中央の指導者等を招いた研修会や、全国大会等で活躍した地元選手の取組みを聞く研修会を開催するなどしており、指導者の資質の向上を図っている。</p>
	<p>(今後の方向性)</p> <p>指導者の研修活動を行う鶴岡市スポーツ強化後援会と連携をとりながら、指導者の資質の向上を図っていく。</p>
④	<p>(主な取組み)</p> <p>競技レベルの高い大会の誘致などを積極的に進め、地元選手の競技意識の高揚を図るとともに、見る楽しさを提供することによって広くスポーツに対する関心を高め、市民の多様なスポーツへの関わりを促進します。</p>
	<p>(上記に対する評価)</p> <p>毎年のようにプロ野球イースタンリーグ公式戦である楽天イーグルス戦が開催されている。また、平成 23 年度には全日本 9 人制バレーボール実業団男子選手権大会及びバレーボール V プレミアリーグ女子大会が、平成 24 年度にはバスケットボール女子日本リーグ鶴岡大会が開催されている。</p> <p>市民が身近に競技レベルの高い試合等に触れる機会が提供されている。</p>
	<p>(今後の方向性)</p> <p>プロの試合や全国大会等の誘致を行う競技団体と連携しながら、その誘致を進めていく。</p>
<p>【4 主な課題】</p> <p>指導者の資質の向上、練習環境の整備及び大会を誘致できる施設の整備が課題である。</p>	

章	3	節	5	市民スポーツの振興
細節	(3)	充実したスポーツ施設の運営		
<p>【1 社会情勢】</p> <p>平成 23 年 8 月に国のスポーツ基本法が施行され、国ではスポーツの推進に計画的に取り組んでいくため、今後 10 年間程度を見通した基本方針と、現状と課題を踏まえた 5 年間の基本計画を 24 年 3 月に策定した。スポーツ基本法では、地方公共団体はスポーツ基本計画を参酌して、地域の実情に即したスポーツの推進に関する計画を定めるよう努めることとし、県では平成 25 年 3 月に山形県スポーツ推進計画を策定した。</p> <p>地域スポーツ施設については、近年全国的に減少傾向にあり、特に全体の 6 割以上を占める「学校体育施設」はピーク時（平成 2 年度：約 156,500 ヲ所）に比べ平成 20 年度には、2 万 ヲ所を超える大幅な減少となっている。施設数の減少の背景には、少子化に伴う学校の統廃合による施設の減少、また厳しい財政状況による施設の閉鎖や新たなスポーツ施設整備の抑制等が影響していると考えられている。</p> <p>県の基本計画では、市町村に対し、施設の有効活用とともに、障害者も含め地域住民が楽しく安全にスポーツを楽しめる環境を作り出すため、公共スポーツ施設等の整備・充実が図られることを期待している。</p>				
<p>【2 本市の現状】</p> <p>本市の体育施設は経年劣化、老朽化が進行している施設もあり、現在は修繕や改修等により施設維持に努めているが、近年、利用者の安全確保が困難であると判断された旧大山中学校体育館（平成 23 年 3 月）と第二体育館（平成 24 年 6 月）の 2 施設を廃止した。その結果、第三中学校区、大山中学校区の両学区には地域拠点体育施設が未設置という状況になり、地元住民や関係団体から整備要望が出されている。また、冬期間における屋内体育施設の混雑の解消や今後の活動が期待される総合型地域スポーツクラブ、障害者及び高齢者が利用しやすい施設環境整備が求められている。</p> <p>本市においては具体的な施設整備における計画が未策定であることから、全市的な視点から、地域バランスや市民ニーズを把握し、学校体育施設や既存体育施設の有効活用を進めるとともに、体育施設が担う、市民の健康増進やスポーツを通じた青少年の健全育成、各種競技力の向上、さらには地域コミュニティの構築の場としてなどの施設機能を一層充実させるための整備を計画的に行うべく、平成 25 年度中の策定を目指している本市スポーツ推進計画に施設整備計画を掲載する予定である。</p>				

【3 主な施策】	
①	<p>(主な取組み)</p> <p>スポーツ施設の効率的、効果的な管理運営を進めるとともに、施設の利用状況の公開やネットワーク化などにより、利便性の高い、充実したサービスを提供します。</p>
	<p>(上記に対する評価)</p> <p>平成 25 年度から鶴岡地域の13の体育施設へ指定管理者制度を導入し、効率的な運営と民間のノウハウを活用した利用者の利便性向上を図っている。また、小真木原公園内の体育施設の利用状況については、これまで県の E 申請システムにより公開してきたが、指定管理者であるNPO 法人鶴岡市体育協会が新規に作成したホームページ上で、更新頻度を高めて情報提供することとしている。以上のように、指定管理者制度導入により、効率的な運営と利用者のニーズに沿った迅速な対応が図られ、今後さらに効果が出ることが期待される。</p>
	<p>(今後の方向性)</p> <p>利用者の更なる利便性の向上と充実したサービスの提供が図られるよう、平成25年度の鶴岡地域体育施設の指定管理者制度導入に引き続き、順次、市民プールや藤島、羽黒、榎引、朝日の各地域の体育施設へ指定管理者制度を導入していく。</p>
	<p>(主な取組み)</p> <p>既存施設の機能強化と有効な活用を進めるとともに、地域の拠点施設、全市的な広域施設などの用途に応じた施設機能を整備します。</p>
②	<p>(上記に対する評価)</p> <p>本市体育施設の機能維持・強化、また利用者の安全確保等のため、必要な修繕や改修等を行ってきたが、建物の老朽化が著しい2つの体育施設を廃止した。また、小真木原陸上競技場については、県内唯一の日本陸連2種公認施設として継続認定が受けられるよう、平成 24 年度に所要の改修、備品整備を行い、平成 25 年 4 月に公認認定を受けた。さらに、小真木原野球場については、スコアボードの BSO 表示への変更、選手名の電光表示化、球速表示システムを、小真木原総合体育館には汎用性の高い得点表示板を平成25年度中に整備・導入予定である。</p>
	<p>既存施設については、施設機能の維持及び向上が図られているが、一方で冬期間の利用混雑の解消や廃止した体育施設の代替等の新規施設の整備には至っていない。</p>
	<p>(今後の方向性)</p> <p>平成 25 年度中に策定する「鶴岡市スポーツ推進計画」に、施設整備における基本方針を明確に表し、幼児から高齢者、障害者をはじめ市民誰もが安心安全にかつ快適にそれぞれの目的に沿った利用ができるよう、他所管の類似施設の状況を踏まえながら、必要な体育施設機能を計画的に整備していく。</p>

	<p>(主な取組み)</p> <p>地域住民が利用しやすい身近なスポーツ活動の場として、学校体育施設を開放し、有効な活用を図ります。</p>
③	<p>(上記に対する評価)</p> <p>学校体育施設開放は、平成 25 年 4 月現在、51 校(小学校 40 校、中学校 11 校)で取り組んでいる。一方で、小学校の統廃合が進むことにより、学校体育施設数が減少することから、廃止となった学校体育館やグラウンドの利活用について検討する必要がある。</p>
	<p>(今後の方向性)</p> <p>学校体育施設が引き続き開放されるよう、今後も学校に働きかけていくとともに、学校が地域住民へ場を提供する「開放型」から、学校・地域社会が利用に係る調整等を行う「共同利用型」への移行や当該施設の維持管理に要する光熱水費等の経費の受益者負担について検討していく。</p>
<p>【4 主な課題】</p> <p>平成 25 年度中に策定予定の「鶴岡市スポーツ推進計画」における取り組みを確実に実施し、計画的に施設機能を整備すること。スポーツ施設を効果的に活用し、市民の生涯スポーツやスポーツを通じた青少年の健全育成、競技力向上などにどの程度寄与したかを評価すること。</p>	

章	3	節	6	都市交流の推進
細節	(1)	国内都市交流の推進		
【1 社会情勢】				
近年、地方自治体における都市交流は、多種多様な方向に広がってきており、また、災害時の相互協力、応援など、その重要性がますます高まっている。				
【2 本市の現状】				
本市においては、平成17年の合併以前に7つの自治体と姉妹都市等の盟約等を結んでおり、現在も引き続き行政による相互訪問を行っているほか、各種団体、サークル等による様々な人的交流や特産品の販売等による交流を積極的に進めている。				
【3 主な施策】				
(主な取組み)				
文化やスポーツ、芸術などによる他地域との交流や姉妹校交流を促進します。				
(上記に対する評価)				
江戸川区との合同合唱団による演奏会の開催、羽黒地域と新島村での駅伝への相互参加、また、各種サークル活動を通じた文化交流など、文化・芸術・スポーツ団体等市民を主体				
①	とした様々な分野での活発な交流が行われている。			
また、現在、市内の小中学校6校が木古内町、鹿児島市等の小中学校と姉妹、兄弟校の盟約を結び、児童作品や特産物の交換、相互交流訪問などの交流を行っている。				
(今後の方向性)				
文化、スポーツなど広い分野で、様々な世代の交流がより一層深まるよう、環境づくりに努めて行く。				
(主な取組み)				
本市の自然環境のもと、他の地域との子どもたちの交流を通じて、逞しさと自然や生命を尊ぶ心を育てます。				
(上記に対する評価)				
②	新島村の子どもたちの羽黒地域でのスキー体験、横浜市の子どものための櫛引地域での稲刈り等の農業体験など、本市の自然環境を生かした交流が行われている。			
(今後の方向性)				
本市の自然環境を生かしながら、創意工夫した特色ある交流を進めていく。				

	<p>(主な取組み)</p> <p>鶴岡市東京事務所を拠点とした、企業誘致に関する情報発信や、物産や観光の宣伝を行い、首都圏との結びつきを強化します。</p>
③	<p>(上記に対する評価)</p> <p>江戸川区におけるイベント等での観光宣伝や物販の継続実施により、首都圏との結びつきを強化してきた。</p> <p>(今後の方向性)</p> <p>首都圏に立地している利便性をより生かし、時代に即した方向で一層強化する。</p>
	<p>(主な取組み)</p> <p>首都圏など他地域に在住する地元出身者や、多様な交流を通じて築いた人的ネットワークを介して、人と情報の交流を拡大します。</p>
④	<p>(上記に対する評価)</p> <p>各ふるさと会・同窓会など地元出身者や省庁・首都圏各種団体等との間で、情報の受発信に努めてきた。</p> <p>(今後の方向性)</p> <p>これら情報の受発信を一層拡大する。</p>
	<p>【4 主な課題】</p> <p>都市交流の主体となってきた個人・団体の高齢化による活動の弱体化。</p>

章	3	節	7	国際交流の推進 推敲
細節	(1)	「草の根の国際交流」活動の推進		
<p>【1 社会情勢】</p> <p>テレビや雑誌、インターネット等を通じ、海外の様子や出来事などが居ながらにして分かる社会になり、身近なコミュニティに在住する外国人も珍しくなくなり、国と国との関係だけでなく人と人の草の根の国際交流、国際理解が一層重要になっている。</p>				
<p>【2 本市の現状】</p> <p>在住の外国人の方はもとより、観光や仕事で来鶴する外国人も多くなり、市民レベルでの草の根の交流の機会も多くなっている。</p> <p>出羽庄内国際村を拠点に草の根の国際交流や国際理解の学習の機会等を提供している。</p>				
<p>【3 主な施策】</p>				
<p>(主な取組み)</p> <p>関係団体と連携しながら、市民が国際交流を身近に体験できるイベントや、国際理解を促進するための外国語講座などの機会を創出します。</p>				
<p>(上記に対する評価)</p> <p>出羽庄内国際村の登録団体や市民の方々に実行委員会を組織し、出羽庄内国際村を会場にワールドバザールや国際村音楽祭など、市民が国際交流を身近に体験できるイベントを開催し、好評を得ている。</p>				
<p>① 出羽庄内国際村において、英語・中国語・韓国語等を中心に外国語講座を開催し、また外国出身者を講師に国際理解講座を開催するなど、国際理解を促進するための取り組みを行ない、好評を得ている。</p>				
<p>(今後の方向性)</p> <p>市民が国際交流や国際理解を身近に体験できるイベントや催しの開催を継続し、語学講座や国際理解講座など受講生のニーズに合わせて検討を加えながら継続していく。</p>				
<p>(主な取組み)</p> <p>国際社会の理解促進や、国の境を越えて人と地域に貢献する活動などを行っている国際交流関係団体のネットワークづくりを推進します。</p>				
<p>(上記に対する評価)</p> <p>出羽庄内国際村のイベントや催しに国際交流関係団体が協力して取り組み、ネットワークづくりを行っている。</p>				
<p>(今後の方向性)</p> <p>国際交流関係団体が協力して行う催しを継続し、ネットワークづくりを進める。</p>				

【4 主な課題】

出羽庄内国際村を拠点として活動する団体やボランティア等を支援すること。

市民のニーズを考え、広く国際理解の機会を提供すること。

在住の外国人はもとより、観光や仕事で来鶴する外国人と市民との国際理解、草の根の国際交流の機会を提供すること。

アマゾン民族館閉館後の出羽庄内国際村を拠点とする草の根の国際交流のあり方について検討すること。

章	3	節	7	国際交流の推進
細節	(2)	国際都市交流の推進		
<p>【1 社会情勢】</p> <p>情報、交通ネットワークの発達によりグローバス化が急速に進展する中で、世界と日本との結びつきがより多面的かつ深いものとなってきている。このような社会情勢の中で、近年では教育交流や文化交流のほか、経済交流など幅広い分野での国際都市交流が活発に行われている。</p>				
<p>【2 本市の現状】</p> <p>本市では下記3都市と盟約を結んでいる。</p> <p>〔姉妹都市〕</p> <p>米国ニュージャージー州・ニューブランズウィック市(NB市)</p> <p>盟約締結:昭和35年(1960年)6月10日</p> <p>〔友好都市〕</p> <p>仏領ニューカレドニア・ラフォア市</p> <p>盟約締結:平成7年(1995年)2月9日</p> <p>〔友好協力都市〕</p> <p>中国黒龍江省・尚志市</p> <p>友好協議書締結:平成12年(2000年)10月25日</p> <p>このほか、従来から続く環日本海地域との交流や、森林をテーマとする南シュヴァルツバルト自然公園との友好協定、食文化を中心とするサンマリノ共和国との交流など、様々なテーマや形による交流の動きがある。</p>				

【3 主な施策】	
①	<p>(主な取組み) 友好団体や子どもたちが主体となった特色ある国際姉妹・友好都市との交流を推進します。</p> <p>(上記に対する評価)</p> <p>国際交流は特に子どもたちの交流を中心とした訪問団の派遣と受入事業に力を入れて実施してきた。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・NB 市との交流については、平成 19 年訪問団受入以降、子どもたちの相互訪問による交流はなかったが、平成 22 年度の盟約 50 周年を記念事業にて両市長を団長とする訪問団の相互訪問が行われたほか、鶴岡市・NB 市姉妹都市盟約 50 周年記念事業実行委員会による中学生訪問団の派遣が行われた。また、平成 24 年度には NB 市訪問団 5 名が来鶴するなど、相互訪問による友好交流の動きがある。 ・ラフォア市とは、1 年おきに中学生が相手市を訪問しており、本年は 7 月に中学生親善訪問団のラフォア市派遣が予定されている。このほか、平成 24 年度にはニューカレドニア・日本人移民 120 周年記念事業に参加し、御殿まりのワークショップなどで鶴岡の伝統文化を紹介するなど文化交流を行い、従来の教育交流と異なる新たな分野での交流を行うことができ、両国の文化の相互理解を深めることにつながった。 ・尚志市との交流については、旧温海町で中学生の相互訪問等を行っていたが、合併後実質的な取組みは行われていない。 <p>このほか、従来から続く環日本海地域との交流、特に中国との交流の部分で、鶴岡田川地区日中友好協会が実施する訪問団の派遣や山形県日中友好協会の「県民のつばさ」事業に職員を派遣するなど、積極的な交流が行われた。</p> <p>(今後の方向性) 今後も友好団体等が実施する子どもの相互訪問を中心とした交流事業を積極的に支援し、交流の継続性を確保していく。また、盟約に基づく都市交流以外に、森林・食文化をはじめとする様々テーマに応じた交流の動きが今後増えることが予想されるため、本市としての交流の狙いや利点を明らかにしながら、新たな分野での交流の展開を図っていく。</p>
②	<p>(主な取組み) 子どもたちが海外の人々との交流を継続することで、自国と他国どちらにも幅広い興味を持ち、深い理解と思慮に富む、将来の国際交流を担う人材が育成されるよう支援します。</p> <p>(上記に対する評価) 友好団体等が実施する相互交流に対して補助金を交付するなど積極的に支援を行った。特に、国際姉妹都市 NB 市及び国際友好都市ラフォア市の中学生の交流事業においては、平成 21 年からの 5 年間で延べ 62 名の中学生が相互訪問し、互いの文化に興味を持ち、異文化を理解する機会を創出することにつながった。</p> <p>(今後の方向性) 子どもたちを中心とした相互交流を引き続き推進していき、次代を担う多くの若者たちの異文化理解を深め、国際感覚豊かな人材の育成を支援していく。</p>

(主な取組み)教育、学術、スポーツ、文化などの国際的イベントやコンベンションの誘致と円滑な実施について、関係機関や団体と積極的に取り組みます。

(上記に対する評価)平成 21 年の日米大学野球選手権大会の開催、日独スポーツ少年団国際交流事業の受入など、特にスポーツをはじめとする国際イベント・コンベンションについて、関係機関や団体と連携を図りながら実施した。また、平成 22 年には、森林をテーマに友好協定を締結した南シュヴァルツヴァルト自然公園の方々を招き、致道大学の公開講座にて「森林文化都市シンポジウム」を実施するなど、様々な分野において国際イベントやコンベンションの実施することができた。

(今後の方向性)今後もイベントの内容や市民のニーズに応じ、幅広い分野での国際イベント・コンベンションの誘致を積極的に行い、地域の関係機関・団体と連携を図りながら、円滑に実施していく。

【4 主な課題】

これまでの国際都市交流の基盤作りをいかしながら、今後様々なテーマや形に応じた交流の動きが増えることが予想されるなかで、狙いや利点を明らかにしながら交流連携を進める必要がある。また、幅広い分野で国際都市交流を展開し推進していくために、市民に対し広く啓発活動を行い、市民の国際感覚の醸成に努めることが課題である。

章	3	節	7	国際交流の推進
細節	(3)	多文化共生の推進		
<p>【1 社会情勢】</p> <p>異なる国籍の人びとが互いの文化的な違いを認め合い、地域社会の構成員として地域を支え、共に生きていく社会において、外国人住民のコミュニケーションの困難の解消を図るとともに、外国人住民が地域において安心して生活を送ることができるよう、定住化に伴う生活上の課題に対する支援が必要である。</p>				
<p>【2 本市の現状】</p> <p>平成21年度866人の在住外国人が平成24年度は630人。平成24年度末時点で、中国403人、韓国82人、フィリピン40人で、在住外国人の83%を占めている。</p> <p>技術研修生等の減少が大きい、日本人の配偶者や日本国籍を取得して定住する外国出身者の数は大きく減ってはいないと思われる。</p>				
<p>【3 主な施策】</p>				
<p>(主な取組み)</p> <p>外国人住民の日本の生活習慣などへの理解を進めるため、日本語講座などを開始するなど、円滑な意思疎通を促進する機会を提供します。</p>				
<p>(上記に対する評価)</p> <p>① 出羽庄内国際村において、平成24年度末現在学習者59名、指導ボランティア36名で、毎週火曜夜と日曜午前を中心に日本語教室を継続している。受講者の日本語学習意欲は高く、指導に当たる出羽庄内国際村のボランティアへの信頼も大きい。</p>				
<p>(今後の方向性)</p> <p>指導に当たるボランティアをさらに養成し、きめ細かい指導体制を目指す。</p>				
<p>(主な取組み)</p> <p>外国人の生活相談の窓口を設置し、生活の困難や不便を解消するための環境づくりを行います。</p>				
<p>(上記に対する評価)</p> <p>平成24年度末の相談件数94件(家族・家庭:8件 医療・福祉:13件、生活環境等:5件 金銭関係:1件、労働関係:1件 教育・子育て:38件、その他(在留資格等):29件)。</p> <p>② 出羽庄内国際村に英語・中国語・韓国語で相談に対応できる職員が常駐し、日本語だけでなく母国語で相談できる安心感と信頼感が大きく、在住外国人の市民の大きな拠り所となっている。</p>				
<p>(今後の方向性)</p> <p>多様な相談に対応できるよう、各担当者の専門性を高めるとともに、各関係機関とのネットワークをさらに広げる。</p>				

	<p>(主な取組み)</p> <p>医療、司法、教育に関する事など、専門用語が多用される分野でも通訳することが出来る人材を育成します。</p> <hr/> <p>(上記に対する評価)</p> <p>③ コミュニティ通訳(中国語11人・韓国語3人・英語8人)を中心に毎月1回自主学習会を持ち研鑽を深め、また7言語66人のコミュニティ通訳登録者が、要請に応じ医療、司法、教育の通訳・翻訳の対応をしており、生活上必要とされるコミュニケーションのサポートにあたり効果をあげている。</p> <hr/> <p>(今後の方向性)</p> <p>より細かい言語サポートができるよう、コミュニティ通訳者の専門性や言語力を高める研修を行うとともに、新たに活動に参加できるサポーターを募集、研修を行う。</p>
	<p>(主な取組み)</p> <p>行政や地域情報の多言語化に努め、滞在中はもとよりその往来における利便性に配慮した情報の発信を行います。</p> <hr/> <p>(上記に対する評価)</p> <p>④ 生活ガイドブックの英語・中国語・韓国語版を市民課窓口で必要者に配布して活用している。</p> <hr/> <p>(今後の方向性)</p> <p>継続して多言語による情報発信を行うと共に、発信する内容について検討、改訂するなどし、引き続き啓発につとめる。</p>
	<p>【4 主な課題】</p> <p>在住外国人が抱える問題が多岐にわたり、相談内容も来日初期みられる文化や言語の違いに関連した内容から相続や年金といった専門的な内容に移行してきていて、相談に対応する職員が必要とする知識の内容も変わってきている。</p> <p>災害時の外国人への正確な情報の伝達や避難の対応等の備えが十分でない。</p>

通常学級在籍の発達障がい児童生徒の状況

		高機能 自閉症 の疑い (HFA)	アスペル ガー 症候群 (ASP)	学習 障がい (LD)	注意欠陥 多動性 障がい (ADHD)	小計	割合	学習 遅進	不登校 及び 不登校 傾向	合計	割合
H21	小学校	12	42	55	75	184	2.5%	119	13	316	4.2%
	中学校	23	15	20	17	75	1.8%	61	44	180	4.4%
	全体	35	57	75	92	259	2.2%	180	57	496	4.3%
H22	小学校	17	66	73	89	245	3.4%	75	10	330	4.6%
	中学校	18	24	49	37	128	3.2%	56	35	219	5.4%
	全体	35	90	122	126	373	3.3%	131	45	549	4.9%
H23	小学校	42	106	95	96	339	4.8%	142	11	492	7.0%
	中学校	15	40	43	31	129	3.3%	61	52	242	6.1%
	全体	57	146	138	127	468	4.3%	203	63	734	6.7%
H24	小学校	92	282	186	100	660	9.7%	111	8	779	11.4%
	中学校	37	90	87	46	260	6.8%	77	36	373	9.7%
	全体	129	372	273	146	920	8.6%	188	44	1,152	10.8%

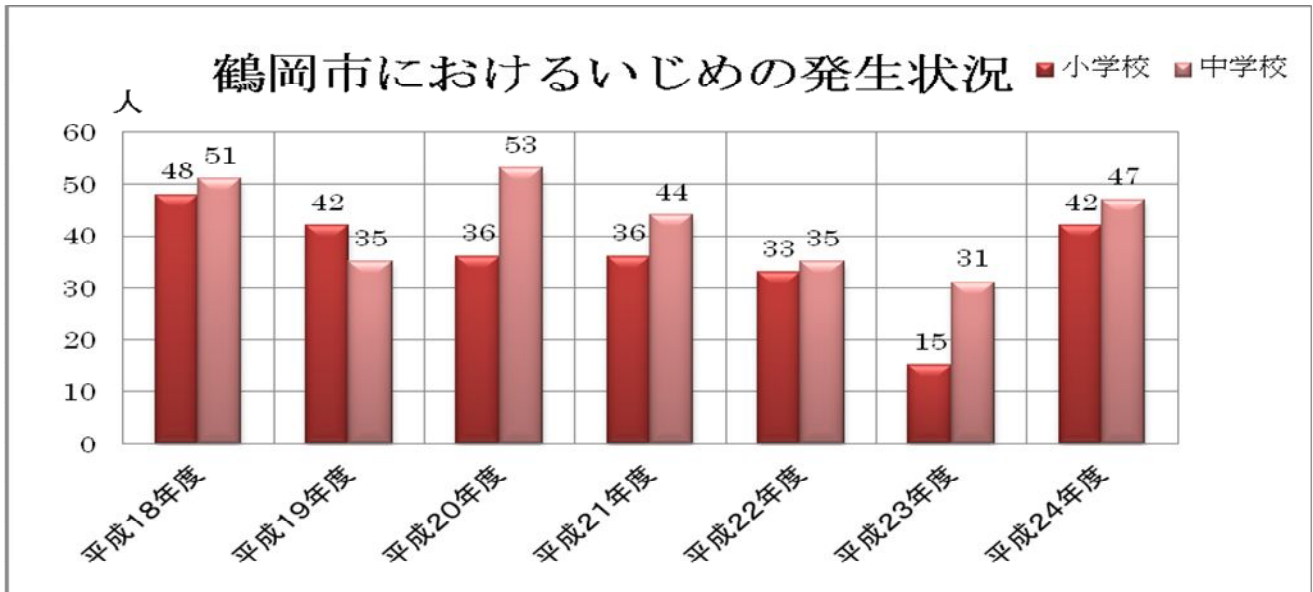
(学校基本調査:5月1日現在)

(注) 割合は、通常学級在籍児童生徒数に対する数値

不登校:年間30日以上欠席の児童生徒

不登校傾向:欠席が年間30日未満で、欠席が多い児童生徒

学校における「いじめ」の状況

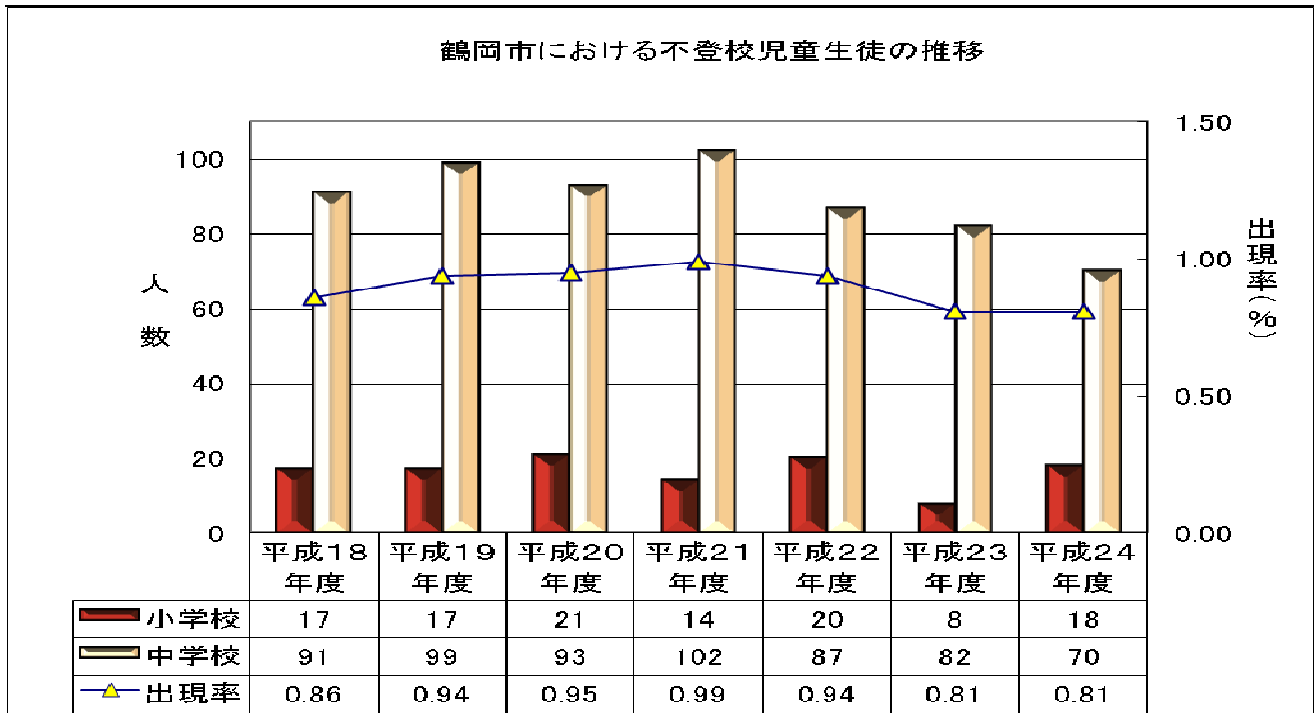


平成21年度～平成24年度はいじめの状況

■いじめの状況■ 平成25年 3月末（過年度における同期比較）

	年度	1期	2期	3期	年間累計	年間解消件数	解消率(%)	継続支援
小学校	H21	20	10	6	36	28	78	8
	H22	17	15	1	33	26	79	7
	H23	9	5	1	15	14	93	1
	H24	20	14	8	42	29	69	13
中学校	H21	13	16	15	44	40	91	4
	H22	7	22	6	35	29	83	6
	H23	15	12	4	31	28	90	3
	H24	18	22	7	47	44	94	3

不登校児童生徒の状況（30日以上欠席）



平成21年度～平成24年度の不登校の状況

■不登校の状況■ 平成25年 3月末（過年度における同期比較）

	平成21年度		平成22年度		平成23年度		平成24年度	
	小学校	中学校	小学校	中学校	小学校	中学校	小学校	中学校
第1期	5	44	5	35	2	37	1	27
第2期	11	83	13	73	5	68	9	50
好転	4	45	7	28	2	30	1	13
第3期	14	102	20	87	8	82	18	70
好転	8	67	13	38	4	31	4	13
年度末出現率	0.18%	2.44%	0.27%	2.12%	0.11%	2.05%	0.26%	1.80%
	0.99%		0.94%		0.81%		0.81%	
関係機関連携	9	48	14	34	6	41	15	31
	64%		70%		75%		83%	
	41%		39%		50%		44%	

鶴岡市立学校 学校数・児童生徒数・学級数

(学校基本調査より)

(1) 小学校 40校

区分	平成21年5月1日		平成22年5月1日		平成23年5月1日		平成24年5月1日	
	児童数 (人)	学級数	児童数 (人)	学級数	児童数 (人)	学級数	児童数 (人)	学級数
普通	7,503	329	7,232	321	7,027	318	6,831	314
支援	69	35	83	37	91	38	92	42
計	7,572	364 うち複式 21	7,315	358 うち複式 24	7,118	356 うち複式 26	6,923	356 うち複式 28

(2) 中学校 11校

区分	平成21年5月1日		平成22年5月1日		平成23年5月1日		平成24年5月1日	
	生徒数 (人)	学級数	生徒数 (人)	学級数	生徒数 (人)	学級数	生徒数 (人)	学級数
普通	4,128	127	4,043	133	3,950	135	3,844	134
支援	53	19	53	19	53	20	53	22
計	4,181	146	4,096	152	4,003	155	3,897	156

[生涯学習関係事業]

1. 社会教育課事業

(H24年度 単位:人)

地域	事業項目	内 容					参加者数等	
		教室名	開催場所	当該小学校区名	年間開催日数	うち土日等	参加者数	
全市	放課後子ども教室 推 進 事 業	1	湯田川地区放課後子ども教室	湯田川コミュニティセンター	湯田川小学校	172	0	2,751
		2	田川子ども教室	田川コミュニティセンター	田川小学校	181	0	2,202
		3	上郷地区放課後子ども教室	上郷コミュニティセンター	上郷小学校	223	30	4,334
		4	三瀬地区放課後子ども教室	三瀬コミュニティセンター	三瀬小学校	199	0	1,225
		5	由良放課後子ども教室	由良コミュニティセンター	由良小学校	193	0	1,632
		6	加茂小学校放課後子ども教室	加茂小学校・加茂コミュニティセンター	加茂小学校	154	1	1,545
		7	湯野浜放課後子ども教室	湯野浜コミュニティセンター	湯野浜小学校	98	43	711
		8	西郷地区放課後子ども教室	西郷小学校	西郷小学校	155	0	5,701
		9	櫛引西小放課後子ども教室	下山添公民館	櫛引西小学校	254	60	3,108
		家庭教育支援事業	<p>①家庭教育講座 学校等の保護者会など、多くの親が集まる機会を活用して、子どもの成長各期に応じた課題別子育て講座を実施し、家庭教育力の向上を図る。全市の幼稚園、保育園、児童館、小中学校、計108施設が対象</p> <p>②やまがた子育て講座 多くの親が集まる効果的な機会を活用して、親が主体的に参加できる形態を工夫した家庭教育に関する講座を実施する。</p> <p>③幼児共育ふれあい広場 幼稚園や保育園等において、人やモノ、自然とのかかわりを重視した親子の体験的な活動等を実施する。</p> <p>④家庭教育講演会 子育てに関して、広く市民を対象とした講演会を行い、日々の子育てに役立ててもらおうとともに、家庭教育の大切さと家族や地域の大人の関わり必要性について啓発する。 「ママ先生の子育てトーク～子どもも親もハッピーな子育て～」 講師：大豆生田 啓友</p>					<p>① 幼稚園 1,158 (26施設) 小学校 1,070 (25施設) 中学校 346 (6施設)</p> <p>② 小学校 805 (10施設)</p> <p>③ 幼稚園 73 (1施設)</p> <p>④ 106</p>

藤島	「山形学」 地域連携講座	<p>テーマ：「庄内の宝・もの」～ここ掘れ ONE & ONE!～ 午前は講義、午後はそれに関連した現地研修。</p> <p>① 庄内地方における戊辰戦争の意義（公開講座） 講師：春山 進氏</p> <p>② 美しき庄内の自然を支えるもの 講師：山本英夫氏</p> <p>③ 庄内から世界に発信する生命科学 講師：富田 勝氏</p> <p>④ 加藤家家紋 蛇の目紋の謎に迫る 講師：加藤 醇氏</p> <p>⑤ つや姫誕生秘話 講師：結城和博氏</p>	<p>① 66人 現地 48</p> <p>② 48人 現地 42</p> <p>③ 53人 現地 53</p> <p>④ 49人 現地 40</p> <p>⑤ 44人 現地 35</p>
	家庭教育支援事業	<p>ブックスタート事業 絵本の読み聞かせを通じた親子のふれあいを推進するために、読み聞かせの指導と併せて絵本の贈呈を行う。</p>	56
羽黒	青少年育成事業	<p>①山のつどい 5年生が集団での野外活動で規律と協調を学ぶ。</p> <p>②川で遊ぼう 川での遊びを通して自然に親しむと共に、川の生物・川の役割を学ぶ</p>	<p>①76</p> <p>②63</p>
	家庭教育支援事業	<p>①ブックスタート事業 絵本の読み聞かせを通じた親子のふれあいを推進するために、読み聞かせの指導と併せて絵本の贈呈を行う。</p> <p>②家庭教育支援講座 保護者に学習の機会を提供し家庭の教育力向上を図る。</p>	<p>①127</p> <p>②104</p>
榎引	青少年育成事業	<p>①子ども会リーダー研修会 各地域の新6年生が2泊3日の合宿を通し、子ども会のリーダー養成と子ども会活動の活性化、仲間づくりを目指す</p> <p>②親子料理教室(榎引公民館) 生地からつくる調理パン、庄内産米粉を使って作る投入スープ</p>	<p>①59</p> <p>②17</p>
	家庭教育支援事業	<p>①子育てくらぶ 親同士の交流を深めながら幼児期に楽しく子育てをする。 ・人形劇「MあんどB」(図書館と共催) ・育児講座「運動あそび」</p> <p>②ブックスタート事業 絵本の読み聞かせを通じた親子のふれあいを推進するために、読み聞かせの指導と併せて絵本の贈呈を行う。</p> <p>③子ども育成合同研修会(子育連・PTA・高親会) 講師：東京女子体育大学 准教授 榎本竜二氏 演題：「ケータイやネットの犯罪から子どもを守れ!」</p>	<p>①364 28</p> <p>②105</p> <p>③71</p>
	生涯学習振興事業	<p>①ケーブルテレビ番組「生涯学習ひろば」 学習情報等の提供、市民の学習活動等の紹介を通して地域市民の生涯学習意欲を高める。 放送日：毎週木曜(再放送：土日月火) 放送時間：20分 番組制作数 20本</p> <p>②女性のつどい 研修会「日常の防犯対策」 講師 鶴岡警察署 生活安全課 氏家泰彦氏</p>	<p>①番組内容内訳 青少年育成 3本 芸術文化 3本 社会体育 2本 家庭教育 2本 講座講演 5本 地域活動等 5本</p> <p>②74</p>

朝日	家庭教育学級	保護者の学習機会の提供や、遊びの広場などを実施して、子育て支援を図る。 ①幼児学級(7回) ②あそびの広場(41回) ③しゃぼん玉広場(4回) ④びよびよ広場(6回)	①150 ②476 ③14 ④188
	子ども体験事業	タキタロウ楽校(5回) 子どもたちが、自然体験などの様々な活動を通して、社会力の向上を図る。	100
温海	温海公民館講座 「赤かぶ大学」	テーマ「鶴岡シルクロード」 ① 講義「温海シルク事情」(菅原久継氏) ② 現地研修「松ヶ岡開墾場、庄内藩(昼食)、鶴岡中央高校」 ③ 現地研修「松岡(株)、天澤寺、椿(昼食)、羽前絹練(株)、芳村捺染」	59
	青少年ボランティア養成講座	目的「地域事業に参加しながらボランティア活動への理解を深めるとともに、青少年の社会参画を促進し、地域貢献のあり方を学習する」 ① 開講式、ボランティアについての講義 ② 「ひろっぴあなつまつり」に運営ボランティアとしての参加 ③ 福祉ボランティア体験 ④ 「子どもまつり」企画会議 ⑤ 「子どもまつり」前日準備 ⑥ 「子どもまつり」の当日運営、振り返り、閉講式	29
	国際理解講座	テーマ「世界のダンスを楽しもう！」 ①「ベリーダンス part1」 ②「ベリーダンス part2」 【地区出前講座】 ③「フラダンス(3地区)」 ④「ヒップホップダンス(2地区)」 ⑤「ベリーダンス(山五十川)」 ⑥「ベリーダンス(五十川)」 ⑦「ベリーダンス(4地区)」 ⑧「ヒップホップダンス(追加)」 ⑨「ヒップホップダンス(追加)」	231

2. 公民館事業

(単位:人)

施設名	平成23年度		平成24年度	
	内容	参加者数	内容	参加者数
中央公民館	市民講座	247	市民講座	313
	市民大学講座	290	市民大学講座	308
	合同文化祭	1,993	文化祭(中公・女性センター統合)	2,639
	子供体験フェア		子供体験フェア	1,418
	新春文化展	1,517	新春文化展	826
		750	青年スクール(長期)	55
			青年スクール(短期)	106
			16ミリ映写機操作講習会	8
			パソコン講座	70
			映画会	264
			プラネタリウム公開	9,704
			女性講座	305
			資格取得準備講座	28
		家庭生活支援講座	66	

藤 島 公 民 館	さなぶりまつり	500	さなぶりまつり	400
	市民運動会	2,000	市民運動会	2,000
	公民館祭り	520	公民館祭り	500
	ふじっ子祭り	200	ふじっ子祭り	150
	学社連携 大豆づくり	265	学社連携 大豆づくり	355
東 栄 公 民 館	地域学習講座	155	地域学習講座	104
	市民運動会	800	市民運動会	950
	東栄芸術祭	400	東栄芸術祭	805
	東栄アパレルフェスタ	411	東栄アパレルフェスタ	553
	成人球技大会	90	成人球技大会	90
八 栄 島 公 民 館	市民運動会	380	市民運動会	400
	わらしこ楽園	196	わらしこ楽園	234
	公民館祭	250	公民館祭	250
	学社連携事業がたのびのび大会	216	学社連携事業がたのびのび大会	276
	あったかボランティア	37	あったかボランティア	38
長 沼 公 民 館	市民運動会	500	市民運動会	500
	わんぱく広場	256	わんぱく広場	301
	芸術文化祭	360	芸術文化祭	247
	工芸教室	47	工芸教室	42
渡 前 公 民 館	市民運動会	1,000	市民運動会	900
	地ふぶき祭り	380	地ふぶき祭り	350
	芸術文化祭	310	芸術文化祭	300
	ドリームランド	154	ドリームランド	101
	学社連携畑作り支援活動	203	学社連携畑作り支援活動	249
羽 黒 公 民 館	成人式	90	成人式	89
	生涯学習講演会	150	生涯学習講習会	54
	青少年教室	20	青少年教室	20
	その他	7	その他	6
手 向 地 区 公 民 館	少年教室	187	少年教室	145
	女性セミナー	208	女性セミナー	256
	生きがい講座	222	生きがい講座	225
	地区球技大会	200	地区球技大会	234
	地区文化祭	333	地区文化祭	370
泉 地 区 公 民 館	親子教室	68	親子教室	73
	レディスセミナー	291	レディスセミナー	279
	運動会	1,300	運動会	1,400
	地区総合フェスティバル	298	地区総合フェスティバル	309
	高齢者教室	155	高齢者教室	170
広 瀬 地 区 公 民 館	男の料理教室	19	熟年者いきいき交流	68
	親子deもの作り教室	42	親子deもの作り教室	40
	エプロンスクール	117	エプロンスクール	130
	でずかセミナー	650	地区文化祭	500
	冬季レクリエーション大会	530	冬季レクリエーション大会	600
羽 黒 四 小 地 区 公 民 館	少年教室	152	少年教室	135
	成人講座	89	成人講座	81
	生きがい講座	60	生きがい講座	54
	秋祭り	100	夏祭り	124
	冬季レクリエーション大会	110	冬季レクリエーション大会	110

櫛引公民館	成人講座	366	成人講座	259
	出前講座	534	出前講座	524
	趣味の講座	8	趣味の講座	151
	地域文化祭	1,482	地域文化祭	1,229
朝日中央公民館	朝日いきいき大学	93	朝日いきいき大学	99
	四つの運動推進	1,113	四つの運動推進	1,414
	軽スポーツ大会	180	スポーツ振興事業	1,652
	ふれあいシアター	47	ふれあいシアター	30
	趣味講座	168	趣味講座	44
朝日南部公民館	ふなの木少年教室	41	ふなの木少年教室	14
	スポーツ振興事業	360	スポーツ振興事業	464
	地域学習振興事業	170	地域学習振興事業	153
	出前学級	45	地域子ども教室推進事業	58
	趣味講座	14	趣味講座	7
朝日東部公民館	ふなの木少年教室	26	趣味講座	8
	グラウンドゴルフ大会	30	出前学級	70
	生涯学習セミナー	50	ふなの木少年教室	40
	芸能文化まつり	150	スポーツ振興事業	414
	運動会(夏・冬)	300	生涯学習セミナー	50
			地域学習振興事業	215
温海公民館	リーダー研修	16	リーダー研修	15
	青少年ボランティア養成講座	42	青少年ボランティア養成講座	29
	市民大学	52	市民大学	59
	国際理解講座	94	国際理解講座	231
温海第1地区公民館	運動会	680	運動会	650
	軽スポーツ大会	60	軽スポーツ大会	57
	生涯学習講座	5	地域づくり事業	21
温海第2地区公民館	さくらマラソン大会(中止) (実行委員会主催事業)		さくらマラソン大会 (実行委員会主催事業)	選手 1,709 スタッフ 350
	運動会	1,000	運動会	1,000
	夏季レクリエーション	26	地域づくり事業	46
	青壮年交流事業	12		
温海第3地区公民館	球技大会	200	球技大会	200
	運動会	655	運動会	495
	女性交流事業	56	女性交流事業	17
			地域づくり事業	73
温海第4地区公民館	トライアスロン大会 (実行委員会主催事業)	選手 245 スタッフ 480	トライアスロン大会 (実行委員会主催事業)	選手 330 スタッフ 450
	運動会	800	運動会	700
	球技大会	250	球技大会	250
	学校地域連携事業	124	学校地域連携事業	25
			地域づくり事業	97

3. コミュニティセンター等事業

(単位:人)

施設名	平成23年度		平成24年度	
	内容	参加者数	内容	参加者数
第一学区コミュニティ 防災センター	鶴南大学講座	219	鶴南大学講座	219
	文化祭	628	文化祭	628
	キラリ夏まつり	622	キラリ夏まつり	622
	親子で学ぶ防犯講座	145	親子で学ぶ防犯講座	145
	料理教室	152	料理教室	152
第二学区コミュニティ 防災センター	夏まつり	313	夏まつり	433
	文化祭	340	文化祭	331
	生涯学習講演会	99	生涯学習講演会	193
	健康講座	103	健康講座	156
	生活防衛研修・体力・健康づくり	157	生活防衛研修・体力・健康づくり	319
第三学区コミュニティ センター	福寿大学・遊学ゼミ	498	福寿大学・遊学ゼミ	526
	文化祭	991	文化祭	1021
	福祉健康まつり	672	福祉健康まつり	501
	チビッ子広場	596	ふるさと少年少女教室	659
	趣味教室	228	趣味教室	261
第四学区コミュニティ センター	文芸・文化講座	609	文芸・文化講座	398
	コミセンまつり	1,495	コミセンまつり	1,368
	実用講座	136	実用講座	131
	スポ・レク事業	265	スポ・レク事業	742
	趣味講座	264	趣味講座	199
第五学区コミュニティ 防災センター	地域子供会リーダー研修会	71	地域子供会リーダー研修会	67
	しあわせ学園	272	しあわせ学園	232
	コミセンまつり	468	コミセンまつり	437
	スポ・レク事業	417	スポ・レク事業	403
	真夏の交流会	263	真夏の交流会	225
第六学区コミュニティ 防災センター	楽知六講座	117	楽知六講座	83
	コミセン・福祉まつり	1,130	コミセン・福祉まつり	1,069
	だがしや楽校	154	だがしや楽校	297
	自然を楽しむ会	49	自然を楽しむ会	32
	グラウンドゴルフ大会	63	グラウンドゴルフ大会	50
斎コミュニティ防災 センター	成人講座	209	成人講座	209
	女性セミナー	85	女性セミナー	53
	地区体育祭	600	地区体育祭	600
	健康講座	148	健康講座	121
黄金コミュニティ防災 センター	芸術文化	350	芸術文化	350
	婦人講座	55	婦人講座	60
	高齢者講座	50	高齢者講座	50
	金峯少年教室	95	金峯少年教室	90
	村づくりの集い	200	村づくりの集い	180
湯田川コミュニティ 防災センター	成人講座	265	成人講座	279
	いきいき健康講座	112	いきいき健康講座	98
	地域座談会	93	地域座談会	136
	地区大運動会	400	地区大運動会	380
	地区作品展	182	地区作品展	121

鶴岡市農村センター	高齢者学級	376	高齢者学級	385
	文化財愛護会	230	文化財愛護会	140
	地域婦人の集い	55	地域婦人の集い	70
	大泉郷倉まつり	450	大泉郷倉まつり	450
	新春懇談会	134	新春懇談会	129
京田コミュニティ防災センター	みんなで来ばいちゃコミセン祭り	500	みんなで来ばいちゃコミセン祭り	500
	土ん土ん体験	500	土ん土ん体験	160
	よがんす!京田夏祭り	218	よがんす!京田夏祭り	500
	親子読書会	1,720	親子読書会	260
	スポ・レク事業		スポ・レク事業	1,720
栄コミュニティ防災センター	生きがい講座	130	生きがい講座	160
	成人講座	130	成人講座	150
	スポ・レク事業	1,050	スポ・レク事業	1100
	お達者講座	100	お達者講座	120
	さかえ祭り	230	さかえ祭り	270
田川コミュニティセンター	合同七つ祝い	30	合同七つ祝い	30
	たがわっしょいふるさと祭り	500	たがわっしょいふるさと祭り	500
	り	480	り	480
	スポ・レク事業	80	スポ・レク事業	0
	新春放談会		新春放談会	50
上郷コミュニティセンター	生きがい講座	260	生きがい講座	220
	文化祭	340	文化祭	340
	地域づくり住民のつどい	130	地域づくり住民のつどい	130
	青少年学習事業	100	青少年学習事業	300
	生活学校	160	生活学校	150
三瀬コミュニティセンター	いきいきライブ講座	224	いきいきライブ講座	269
	婚活パーティー	66	孟宗まつり	600
	子育て講座	417	子育て講座	254
	地区作品展	143	地区作品展	128
	高齢者学習事業	110	高齢者学習事業	124
小堅コミュニティセンター	ふれあい講座	115	ふれあい講座	114
	地域文化展	130	地域文化展	130
	学区市民大運動会	300	学区市民大運動会	300
	健康づくり教室	98	健康づくり教室	68
	(振)理事・両地区協議員研修会	25	(振)理事・両地区協議員研修会	21
由良コミュニティセンター	ふれあい講座	157	ふれあい講座	163
	地域づくり住民のつどい	70	地域づくり住民のつどい	67
	学区民大運動会	680	学区民大運動会	680
	婦人合同研修	66	婦人合同研修	61

加茂コミュニティセンター	楽遊会(生きがい講座)	288	楽遊会(生きがい講座)	284
	地区作品展	202	地区作品展	174
	料理教室	28	料理教室	60
	地区公民館研修会	50	地区公民館研修会	50
	スポ・レク事業	350	スポ・レク事業	120
湯野浜コミュニティセンター	ふれあい講座	181	ふれあい講座	106
	文化祭	300	文化祭	300
	スポ・レク事業	800	スポ・レク事業	1000
大山コミュニティセンター	高館山少年教室	780	高館山少年教室	565
	芸能のつどい	303	芸能のつどい	371
	成人講座	131	成人講座	316
	老壮学級	440	老壮学級	299
	スポ・レク事業	290	スポ・レク事業	3330
西郷地区農林活性化センター	少年少女教室	1200	地区運動会	1,000
	愛郷成人講座	290	愛郷成人講座	270
	住民作品展	260	住民作品展	260
	スポ・レク事業	910	夏祭り事業	500

[図書館関係]

図書館の利用状況

		平成 2 1 年度	平成 2 2 年度	平成 2 3 年度	平成 2 4 年度
人口（3月31日現在）		139,619 人	138,499 人	137,453 人	136,146 人
蔵書冊数		343,066 冊	355,609 冊	359,383 冊	353,924 冊
登録者総数		58,934 人	60,844 人	62,690 人	21,154 人
新規登録者数		2,410 人	2,191 人	1,796 人	1,980 人
内 訳	館内	2,059 人	1,898 人	1,498 人	1,947 人
	BM	351 人	293 人	298 人	33 人
開館日数		298 日	295 日	298 日	297 日
BM運行日数		154 日	165 日	150 日	154 日
入館者数		266,012 人	262,045 人	251,656 人	256,428 人
貸出利用人数		110,399 人	111,134 人	107,531 人	106,821 人
内 訳	館内	100,872 人	101,706 人	96,774 人	95,789 人
	BM	9,527 人	9,428 人	10,757 人	11,032 人
貸出利用冊数		436,110 冊	425,448 冊	413,824 冊	416,846 冊
本館から分館への移送冊数		—	8,402 冊	10,496 冊	12,951 冊
インターネット予約 パスワード新規登録者		174 人	83 人	139 人	185 人 (累計 1,110 人)
インターネットでの本の 予約		—	9,695 冊	11,551 冊	14,177 冊
1 日当たり入館者数 入館者数／開館日数		892.7 人	888.3 人	844.5 人	863.4 人
1 日当たりの貸出利用人数 貸出利用数／開館日数		370.5 人	376.7 人	360.8 人	359.7 人
1 日当たりの貸出利用冊数 貸出冊数／開館日数		1,463.5 冊	1,442.2 冊	1,388.7 冊	1,403.5 冊
1 人 1 回当たりの貸出冊数 貸出冊数／利用者数		3.9 冊	3.8 冊	3.8 冊	3.9 冊
登録率 登録者累計／ 人口×100		42.2%	43.9%	45.6%	15.5%
人口 1 人当たりの貸出冊数 貸出冊数／人口		3.1 冊	3.0 冊	3.0 冊	3.0 冊

※ 開館日数は本館を使用

※ 平成 2 4 年度の登録者総数は 5 年間利用ないものを削除したため減少

平成24年度 鶴岡市家庭教育支援講座実施一覧

小学校

実施機関	対象者	講師	テーマ・内容
朝暘第一小学校	新入学児童・保護者	三浦 慎 士	心豊かにともに育つ
朝暘第二小学校	新入学児童・保護者	宮 河 和 子	子どもを育む家庭の大切さ
朝暘第三小学校	新入学児童・保護者	三浦 慎 士	心豊かに育つ
朝暘第四小学校	新入学児童・保護者	加藤 真知子	学童期（1年生を中心に）の子育てのポイントについて
朝暘第五小学校	新入学児童・保護者	本間 俊 美	小学校への入学前 この時期の子育てについて
朝暘第六小学校	新入学児童・保護者	本間 俊 美 小 田 賢 嗣	子どもの誇りを育てる3つのことば 日本の伝統文化に触れよう
斎小学校	新入学児童・保護者	本間 俊 美	子育ての核（Core）
黄金小学校	保護者	迎 田 健	健康な歯は虫歯ゼロから
湯田川小学校	保護者	島 山 秀 樹	心豊かな子育てについて
栄小学校	保護者	菅 原 純 子	本好きな子にするために
上郷小学校	保護者	佐 藤 康 悦	子どもの姿勢と足について
三瀬小学校	新入学児童・保護者	本間 俊 美	就学時における子育て講話
小堅小学校			
由良小学校			
湯野浜小学校	児童・保護者	佐 藤 康 悦	正しい姿勢で健康に
加茂小学校	保護者	田 中 宏	親子でぶっちゃけ加茂トーク
大山小学校	保護者	加藤 真知子	子どもの成長とより良い親の関わり方
西郷小学校	保護者	本間 俊 美	親子が育ちあう読書
藤島小学校	入学予定児童・保護者	本間 俊 美	子育てにおける親の役割
東栄小学校	P T A会員	菅 原 や い 子	子ども達の身の回りに潜む危険～子ども達を犯罪被害から防ぐために～
渡前小学校	祖父母 新入学児童・保護者	江 口 暢 子 本 間 俊 美	・子育てしているみんなとともに ・今だから3シブ
長沼小学校	P T A会員	平 山 明	けん玉道で心身を鍛える
羽黒第一小学校	P T A会員	山 田 洋 介	ネットにかかわるトラブルの実際と予防
羽黒第二小学校	新入学児童・保護者	三浦 慎 士	心豊かに共に育つ
羽黒第三小学校	保護者	本間 俊 美	絵本からのおくりもの
櫛引東小学校	P T A会員	大 瀧 与 一	子育て、親そして家族の役割
櫛引西小学校	P T A会員	菅 原 や い 子	子ども達の身の回りに潜む危険～子ども達を犯罪被害から防ぐために～
櫛引南小学校	児童と保護者	佐 藤 は る み	孫子と一緒にリフレッシュ体操
朝日大泉小学校	新入学児童・保護者	富 樫 ち え	子育てに関する講話
朝日小学校			
大網小学校			
五十川小学校	P T A会員	志 田 孝 士	五十川小の歴史・田川炭鉱の歴史
鼠ヶ関小学校	祖父母	加藤 真知子	子育てにおける祖父母の役割
福栄小学校	保護者	石 川 充	子どもの生育や生活リズムについて
山戸小学校	児童・P T A会員	中 里 征 晴	親子で一緒に体を動かして、子どもの運動、発達について考える

中学校

実施機関	対象者	講師	テーマ・内容
鶴岡第一中学校	生徒・保護者	N P O 地球のステージ	地球のステージ 6 ～国際協力活動、東日本大震災～
鶴岡第五中学校	生徒・保護者	岩手県の被災者	震災について思うこと
豊浦中学校	P T A 会員	荒 澤 和 子	子育ての先輩として
羽黒中学校	P T A 会員	本 間 俊 美	親の背中を見て子どもは育つのか ～会話が成り立つとき、成り立たないとき～
櫛引中学校	P T A 会員	渡 辺 智 史	よみがえりのレシピ
温海中学校	生徒・保護者	三 浦 友 佳	生い立ちから現在まで

6校

幼稚園・保育園・児童館・その他

実施機関	対象者	講師	テーマ・内容
東部保育園	園児・保護者	おはなしポケット	子どもと楽しむ絵本や物語の世界
みどり幼稚園	希望者	佐藤しおり	親子のふれあい～いっしょにおどろう～
	希望者	鎌田里香	親子でリトミック
大宝幼稚園	保護者	本間俊美	幼児共育「子育て Ship 1・2・3」～絵本と子育て～
和光幼稚園	園児・保護者	上野若佳	子どもとできるヨガで親子コミュニケーション
大泉保育園	保護者	後藤敬子	あなたの笑顔とうなずきが心の栄養剤
湯田川保育園	保護者	藤井小弥太	子どもによくみられる病気と適切なケアについて
民田保育園	保護者	佐藤康悦	子どもの姿勢とくつえらびについて
小堅保育園	園児・保護者・地域の方	伊藤豊継	とよ先生とダンスで遊ぼう (親子のふれあいに関するお話と実践)
	園児・保護者・地域の方	伊藤豊継	とよ先生とダンスで遊ぼう (親子のふれあいに関するお話と実践)
上郷保育園	保護者	海藤道子	幼児期の食事と家庭での食育について
三瀬保育園	園児・保護者・地域の方	田中宏	歌を通した子どもとの関わり
美咲保育園	祖父母	本間俊美	祖父母講演会
鶴岡市中央児童館	保護者・地域の方	後藤敬子	子育て勉強会inひろっぴあwithごっつさん ～思い出そう…子どもが生まれたあの日・あの時・あの感動！～
	保護者・地域の方	大瀧雅士	絵本の読み聞かせについて
藤島くりくり保育園	園児・保護者	本間俊美	子育てと絵本の読み聞かせ
泉幼稚園	園児・保護者	中山祥子	地域における子育て支援 わらべうた遊びで親子のふれあい
	園児・保護者	三浦牧	昔語りとふれあい遊び
大東保育園	保護者・地域の方	鈴木一作	親として伝えていきたいこと
貴船保育園	保護者	上野和佳	ママのためのリフレッシュヨガ 親子のふれあいと自分のケア
いずみ保育園	保護者	伊藤祐輔	子どもの体づくり、早寝早起き、外あそびについて
くしびき保育園	保護者	加藤真知子	生活リズムの大切さと発達の基本やだだこきの大切さと 上手なかかわり方について
くしびき東部保育園	保護者	本間俊美	パパとふれ愛1・2・3
くしびき西部保育園	祖父母	本間俊美	絵本の世界から見える子育てのコツ
	父親	羽生充	父親の子育て
くしびき南部保育園	保護者	石田幸	子どもたちに安心感と元気の素を！
	保護者	荻原恵美	父親参観親子でふれあい
朝日保育園	保護者	大瀧興一	子育てに関する講話
本郷保育園	保護者と園児	三浦利由喜	親子のふれあいに関するお話と実践
大泉保育園	園児・保護者	渡部佳子	親子ふれあいリトミック
	保護者	土田千里	幼児の食育と虫歯予防について
大網保育園	保護者	本間俊美	子育てと絵本のかかわりについて
五十川保育園	祖父母	加藤真知子	孫育てについて
あつみ保育園	園児・保護者	本間俊美	読み聞かせを通した子育ての大切さと親子の成長について

[芸術文化活動関係]

1. 各種事業概要

(1) 芸術祭等の開催状況（主催・共催事業）

地域	事業名	平成23年度		平成24年度	
		参加団体数	入場者数(人)	参加団体数	入場者数(人)
鶴岡	鶴岡市芸術祭	63	31,984	63	31,277
	芸能のつどい	9	417	7	258
藤島	藤島芸術文化祭	29	1,820	26	730
羽黒	はぐろ秋まつり 芸術文化祭	15	941	18	893
榎引	くしびき文化祭	12	1,482	15	1,229
朝日	あさひ産業文化まつり	11	1,800	11	1,500
温海	温海文化祭	19	1,400	19	1,400

(2) 普及鑑賞事業の開催状況（主催・共催の音楽、舞台系事業）

地域	事業名	平成23年度		平成24年度	
		参加団体数	入場者数(人)	参加団体数	入場者数(人)
鶴岡	山形交響楽団定期演奏会鶴岡公演	—	875	—	910
	山響団員による青少年への演奏指導	26	466	24	491
	合唱祭	7	473	6	413
藤島	ふじしま音楽祭	17	1,100	15	1,200
榎引	子ども映写会	—	113	—	113
朝日	音楽鑑賞会	1	160	1	160

(3) 展示系事業の開催状況（芸術祭等除く、主催・共催事業）

地域	施設名	平成23年度		平成24年度	
		開催回数	入場者数(人)	開催回数	入場者数(人)
鶴岡	鶴岡アートフォーラム	7	5,738	7	16,191
	藤沢周平記念館	2	48,352	2	35,562
藤島	東田川文化記念館 (ギャラリー藤を含む)	10	3,733	9	4,564
羽黒	羽黒コミュニティセンター ギャラリー (オープンスペース)	12	254	12	240

櫛引	黒川能の里王祇会館 (多目的ホール)	4	1,346	4	1,899
温海	温海ふれあいセンター (ギャラリースペース)	2	230	1	95

(4) 高山樗牛賞の授与(平成24年度)

賞	区 分	受賞者	備 考
高山樗牛賞	—	樋渡 浩 (庄内町)	昭和33年度から実施
奨 励 賞	小学校児童及び中学校生徒の部	佐藤 初音 (朝陽第一小学校5年生) 櫻井 徳志 (朝陽第二小学校6年生)	平成15年度から実施
	高等学校生徒の部	該当なし	

2. 文化施設の利用状況 (主催・共催・貸し館事業等全て)

地域	施 設 名	平成23年度		平成24年度	
		件数(件)	人数(人)	件数(件)	人数(人)
鶴岡	文 化 会 館	262	95,649	※1,496(272)	※122,136(97,047)
	鶴岡アートフォーラム	861	57,944	1,035	68,506
櫛引	黒川能の里王祇会館	428	18,501	500	21,780

※24年度から、青年センターを文化会館に統合したため合計を記載。()は内、旧文化会館のみの利用者数。

[文化財関係]

1. 指定文化財

(1) 国指定 (文化財保護法によるもの)

(平成25年4月1日現在)

区 分		件 数	備 考
有形文化財	国 宝	建 造 物	1 羽黒山五重塔
		工 芸 品	2 太刀 2口 「銘信房作」、「銘真光」
	重要文化財	建 造 物	9 水上八幡神社本殿、羽黒山正善院黄金堂、旧西田川郡役所、旧渋谷家住宅、鶴岡カトリック教会天主堂、羽黒山三神合祭殿及び鐘楼、旧風間家住宅、金峯神社本殿、旧鶴岡警察署庁舎
		絵 画	1 絹本著色「玉昭君図」
		彫 刻	1 銅造如来立像
		工 芸 品	8 銅燈籠竿、短刀、刀、色々威胴丸、銅鉢、梵鐘、能装束 2 件
		書 跡	1 禅院額字「潮音堂」
		考 古 資 料	1 銅鏡「羽黒山御手洗池出土」
		重要無形民俗文化財	1 黒川能
民俗文化財	重要有形民俗文化財	8	庄内のぼんどりコレクション 116点 庄内の木製酒器 " 77点 庄内の仕事着 " 126点 大宝寺焼 " 234点 くりもの " 250点 庄内浜関係漁撈用具 1,937点 最上川水系漁撈用具 810点 庄内の米作り用具 1,800点
史跡・名勝・天然記念物	史 跡	3 旧致道館、松ヶ岡開墾場、小国城跡	
	名 勝	3 金峰山、酒井氏庭園、玉川寺庭園	
	特 別 天 然 記 念 物	1 羽黒山のスギ並木	
	天 然 記 念 物	8 熊野神社の大スギ、文下のケヤキ、南谷のカシミザクラ、羽黒山の爺スギ、山五十川の玉スギ、早田のオハツキイチョウ、月山、三瀬気比神社社叢	
計		48	

(2) 国登録 (文化財保護法によるもの)

区 分		件 数	備 考
有形文化財	建 造 物	12	石名坂家住宅主屋・蔵、安良町公民館 (旧鶴岡警察署大山分署)、風間家旧宅 (丙申堂) 表門・西側坂塀、旧鶴岡町消防組第八部消防ポンプ庫、風間家旧別邸無量光苑釈迦堂・土蔵・表門・中門・北門・板塀
計		12	

(3) 県指定 (県文化財保護条例によるもの)

区 分		件 数
有 形 文 化 財	建 造 物	7
	絵 画	5
	彫 刻	12
	工 芸 品	31
	書 跡	5
	典 籍	3
	考 古 資 料	8
	歴 史 資 料	6
民 俗 文 化 財	無形民俗文化財	3
	有形民俗文化財	3
史 跡 ・ 名 勝 ・ 天 然 記 念 物	史 跡	6
	名 勝	1
	天 然 記 念 物	10
計		100

④市指定 (市文化財保護条例によるもの)

区 分		件 数
有 形 文 化 財	建 造 物	11
	絵 画	30
	彫 刻	63
	工 芸 品	52
	書 跡	29
	典 籍	3
	古 文 書	41
	考 古 資 料	15
	歴 史 資 料	46
	民 俗 文 化 財	無形民俗文化財
有形民俗文化財		15
史 跡 ・ 名 勝 ・ 天 然 記 念 物	史 跡	24
	天 然 記 念 物	26
計		363

2. 文化財施設の公開管理

(1) 史跡旧致道館

国指定史跡旧致道館の保存を図りながら藩校資料等の展示を行い、一般に公開することにより、庄内の教育の源泉である致道館教育を伝え、現代の教育に生かすとともに、文化財愛護思想の高揚を図る。

(2) 大宝館

市指定有形文化財大宝館の保存を図りながら、一般に公開することにより、文化財愛護思想の高揚を図るとともに、郷土人物等展示施設として郷土の発展に貢献された方々の業績を顕彰する。

(3) 旧遠藤家

県指定有形文化財旧遠藤家住宅の保存を図りながら、一般に公開することにより、文化財愛護思想の高揚を図るとともに、朝日田麦俣地区特有の多層建築の様式を後世に継承する。

(4) 旧東田川郡役所及び郡会議事堂

県指定有形文化財旧東田川郡役所及び郡会議事堂の保存を図りながら、一般に公開するとともに、芸術文化活動の場としても活用することにより、文化財愛護思想の高揚と芸術文化活動の振興を図る。

3. 文化財施設の入館状況

(単位：人)

地域	施 設 名	平成 23 年度	平成 24 年度
		入館者数	入館者数
鶴 岡	史 跡 旧 致 道 館	39,309	38,285
	大 宝 館	26,700	25,835
藤 島	東 田 川 文 化 記 念 館	11,397	11,803
朝 日	旧 遠 藤 家 住 宅	1,789	1,593

4. 文化財関連施設の利用状況

地域	施設名	平成23年度	平成24年度
		入館者数	入館者数
櫛引	黒川能の里王祇会館	18,501	21,780
温海	山五十川古典芸能収蔵館	389	385

5. 民俗芸能等の状況

※件数（ ）は、うち休止数

地域	件数	内容
鶴岡	48件 (8)	<ul style="list-style-type: none"> ・神楽 7件 (湯田川温泉神楽、安丹神楽、林崎神楽、大谷神楽 他) ・獅子舞 21件 (山王様の獅子舞、水上八幡宮の獅子かぶり 他) ・天狗舞と獅子舞 2件 (天満宮の天狗舞と獅子舞 他) ・巫女舞 3件 (伊勢横内八幡神社の倭舞 他) ・田植踊 2件 (金峯神社の田業式、三瀬・気比神社の御田植祭り) ・福神踊 2件 (加茂泊町の大黒舞、今泉の子供大黒舞) ・小唄踊 5件 (万家盛路、大山いざや巻 他) ・奴ふり 1件 (大山祭奴振り) ・その他 5件 (どんづき唄、荘内神社大名行列 他)
藤島	16件 (5)	<ul style="list-style-type: none"> ・神楽 3件 (古郡神楽、長沼八幡神社神楽、六所神社神楽) ・獅子踊 9件 (添川両所神社御獅子舞、東堀越獅子踊、渡前獅子踊 他) ・福神舞 1件 (藤岡大黒舞) ・奴ふり 1件 (添川両所神社三役) ・祭礼 2件 (両所神社御神輿渡御、添川八幡様の馬引き)
羽黒	15件 (0)	<ul style="list-style-type: none"> ・神楽 1件 (町屋かぐら) ・獅子舞 2件 (八幡神社獅子舞、押口琴平神社獅子舞) ・巫女舞 2件 (八幡神社巫女舞、松尾貴船神社大和舞) ・巫女神楽と祭礼 5件 (出羽三山神社例大祭、蜂子神社祭、歌舞・仙道神子(18回) 他) ・田楽と祭礼 1件 (出羽三山神社祈年祭) ・延年 1件 (高寺八講) ・祭礼 3件 (出羽三山神社新始祭、松例祭、倭楽)
櫛引	14件 (0)	<ul style="list-style-type: none"> ・獅子舞 2件 (黒川春日神社獅子舞、馬渡御嶽神社獅子舞) ・天狗舞と獅子舞 8件 (上山添皇大神社天狗舞獅子舞 他) ・巫女舞 1件 (倭舞) ・田植踊 1件 (丸岡桐箱踊り) ・奴ふり 1件 (上山添皇大神社奴ふり) ・能 1件 (黒川能)
朝日	16件 (8)	<ul style="list-style-type: none"> ・神楽 7件 (田麦俣神楽、下名川神楽、大網中村神楽 他) ・獅子舞 2件 (上田沢河内神社奉納舞、本郷河内神社獅子舞) ・天狗舞と獅子舞 2件 (熊出熊岡神社奉納舞、越中山神楽) ・田植踊 2件 (田植踊(田麦俣)、大網各村の田植踊)

		<ul style="list-style-type: none"> ・福神踊 2件 (大網子ども大黒舞、越後大黒舞) ・その他 1件 (大網芝居)
温海	46件 (15)	<ul style="list-style-type: none"> ・神楽 3件 (峠野山神楽、小名部神事舞、小名部神楽) ・獅子舞 12件 (熊野神社獅子舞、新山神社獅子舞、槇代獅子舞 他) ・獅子舞と剣舞 3件 (一霞神楽、湯温海神楽、五十川神楽) ・天狗舞 2件 (天狗舞 (鼠ヶ関巖島神社)、諏訪神社天狗舞) ・巫女舞 3件 (熊野神社のミカンコ舞、浜中のミカンコ舞 他) ・獅子踊 1件 (木野俣獅子踊) ・田植踊 2件 (小岩川の作祭、作踊り (木野俣)) ・福神舞 2件 (湯温海大黒舞、峠野山大黒舞) ・祭礼 9件 (小国の大名行列、巖島神社神輿流し神事 他) ・歌舞伎 3件 (山五十川歌舞伎、戸沢歌舞伎、鼠ヶ関歌舞伎) ・能 2件 (山戸能、鼠ヶ関三番叟) ・その他 4件 (道行囃子、ワッパ舞)
計	155件 (36)	

6. 国・県・市指定無形民俗文化財

区分	件数	名称
重要無形民俗文化財	1件	櫛引～黒川能
県指定無形民俗文化財	3件	羽黒～高寺八講 温海～山戸能、山五十川歌舞伎
市指定無形民俗文化財	8件	鶴岡～安丹神楽 藤島～両所神社御獅子舞、古郡神楽 朝日～田植踊 温海～木野俣獅子踊、小国八幡宮弓射神事、 ケヤキキョウダイ、関川のしな織
計	12件	

平成24年度スポーツ振興主要事業の実施状況

1 誰もが健康に、楽しめる生涯スポーツの推進

① 総合型地域スポーツクラブの創設支援、育成

- 1) はぐるスポーツクラブの設立（平成25年2月24日）

② 誰もが取り組める健康・体力づくりの推進

1) トレーニングルームの利用促進

	トレーニングルーム	2月末現在の利用者数（前年度2月末現在利用者数）
1	小真木原総合体育館	10,559人（8,750人）
2	藤島体育館	14,157人（13,098人）
3	羽黒体育館	8,802人（8,512人）
4	櫛引スポーツセンター	6,218人（6,230人）

2) 継続的なウォーキングの実践の促進（「50万歩への挑戦」、「ウォーキングビンゴ」）

No.	月 日	行 事 等 名 称	開 催 場 所	参加者数等
1	5月1日～8月31日	「歩かなければ歩けなくなる」50万歩への挑戦	全市	達成者231人(2月末現在)
2	年間	ウォーキングビンゴ	全市	達成者85人(2月末現在)

③ 多くの市民が参加できるスポーツ行事の開催・支援

1) 「てくてく健康里山あるき」などの実施（20回）

No.	月 日	行 事 等 名 称	開 催 場 所	参加者数
1	4月28日（土）	水芭蕉の松ヶ岡を巡る	松ヶ岡	109人
2	4月29日（日）	西目大佛、荒倉を訪ねて	西目	153人
3	5月12日（土）	ふじの花まつりウォーク	藤島	49人
4	5月19日（土）	マタギの里大鳥を訪ねて	大鳥	106人
5	5月20日（日）	新緑の八森山を訪ねて	三瀬	105人
6	5月27日（日）	義経上陸の地を巡る	鼠ヶ関	77人
7	6月10日（日）	名水の里！長滝を訪ねて	田川	97人
8	6月23日（土）	さくらんぼの里を歩く	西片屋	109人
9	7月7日（土）	古の六十里越街道に行く	大網	81人
10	7月8日（日）	庄内空港と日本海沿岸ウォーキング	湯野浜	92人
11	7月22日（日）	金峯山修験のみちに行く	金峯山	75人
12	8月11日（土）	獅子郷の里を巡る	添川	92人
13	8月25日（土）	黒川能の里を巡る	黒川	95人
14	9月2日（土）	波渡岬と笠取岬に行く	三瀬	33人
15	9月29日（土）	日本海と湯けむりの里	温海温泉・峠ノ山	74人
16	10月6日（土）	金峯山修験のみち 藤沢へ	金峯山	49人
17	10月20日（土）	出羽街道の宿場と峠路に行く	小俣・小国	61人
18	11月23日（金）	初冬のあさひ月山湖へ	朝日	71人
19	2月17日（日）	雪上かんじきウォーク（羽黒）	羽黒	69人
20	3月16日（日）	雪上かんじきウォーク（湯殿山）	朝日	50人

2) （社）日本ウォーキング協会公認 みんなで歩こう！里山あるき2012の開催

No.	月 日	行 事 等 名 称	開 催 場 所	参加者数
1	9月22日（土）	日本海夕陽コース	高館山	418人
2	9月23日（日）	羽黒山修験のみち	羽黒山	146人

3) 第14回国際ノルディックウォークinゆのはまの開催支援

No.	月 日	行 事 等 名 称	開 催 場 所	参加者数
1	6月9日(土)・10日(日)	第14回国際ノルディックウォークinゆのはま	湯野浜・羽黒山	316人

4) 市民登山(2回)の開催支援

No.	月 日	行 事 等 名 称	開 催 場 所	参加者数
1	6月17日(日)	母狩山	母狩山	37人
2	8月4日(土)	月山	月山	84人

5) 子ども夢スポーツフェスティバルin鶴岡2012の開催

No.	月 日	行 事 等 名 称	開 催 場 所	参加者数
1	10月14日(日)	子ども夢スポーツフェスティバルin鶴岡2012	小真木原陸上競技場 他	5000人

6) 第58回鶴岡市駅伝競走大会の開催

No.	月 日	行 事 等 名 称	開 催 場 所	備 考
1	10月28日(日)	第58回鶴岡市駅伝競走大会(26チーム)	鶴岡市内	優勝:羽黒 準優勝:第三 3位:斎

7) 第58回鶴岡市民総合体育大会の開催支援

No.	月 日	行 事 等 名 称	開 催 場 所	参加者数等
1	8月18日(土)・19日(日)	第58回鶴岡市民総合体育大会	小真木原総合体育館 他	18種目 3,199人

8) 地域体育協会等主催主要スポーツ行事の開催支援

No.	月 日	行 事 等 名 称	開 催 場 所	参加者数
1	6月11日(月)	会長杯ゲートボール大会(朝日)	朝日スポーツセンター	6チーム
2	6月2日(土)~8月14日(火)	朝日杯野球大会	朝日スポーツセンター	8チーム リーグ戦
3	6月10日(日)	藤島壮年ソフトボール大会	藤島農村環境改善センター	80人
4	6月10日(日)	羽黒地区ソフトボール大会(春季大会)	羽黒農村センター	140人
5	6月10日(日)	第44回榊引サッカー大会	榊引総合運動公園 他	19チーム
6	6月24日(日)	藤島テニス大会	藤島体育館	45人
7	6月24日(日)	羽黒地区クレール射撃大会	羽黒クレール射撃場	11人
8	7月7日(土)	羽黒地区市民グラウンドゴルフ大会	創造の森	89人
9	7月8日(日)	第34回榊引バスケットボール大会	榊引スポーツセンター 他	35チーム
10	7月16日(月)	第41回少年体育大会(榊引)	榊引総合運動公園	169人
11	7月31日(日)	藤島ベタンク大会	藤島体育館	40人
12	8月2日(木)	羽黒地区世代交流ゲートボール大会	羽黒農村センターGB専用コート	45人
13	8月5日(日)	ふじしま夏まつり子どもすもう大会	藤島小学校相撲場	73人
14	8月27日(月)~9月8日(土)	第32回朝日地区サッカー大会	朝日スポーツセンター	8チーム
15	8月28日(日)	第46回榊引バレーボール大会	榊引スポーツセンター 他	52チーム
16	8月31日(金)	南北剣道大会(羽黒)	羽黒山博物館	70人
17	9月2日(日)	羽黒地区ソフトボール大会(秋季大会)	羽黒農村センター	132人
18	9月2日(日)	羽黒地区ロードレース大会	羽黒体育館周辺	15人
19	9月3日(月)	第28回温海地区ゲートボール大会	温海温泉林業センターコート	10チーム
20	9月9日(日)	第34回青年・第25回女子ソフトボール大会	榊引総合運動公園	17チーム
21	9月22日(土)~10月14日(日)	会長杯野球大会(朝日)	朝日スポーツセンター	8チーム
22	9月30日(日)	温海グラウンド・ゴルフ協会秋の交歓大会	友愛の森広場	120名
23	10月~11月	温海ナイターバレーボール大会	温海中学校体育館	8チーム
24	10月6日(土)・7日(日)	第20回榊引カップ中学校サッカー大会	榊引総合運動公園	9チーム
25	10月7日(日)	第20回山形県少年少女スポーツ交流大会(剣道)	榊引スポーツセンター	394人
26	10月7日(日)	第53回朝日地域駅伝大会	朝日地域内	14チーム
27	10月7日(日)	第40回羽黒地区駅伝競走大会	羽黒体育館周辺	309人
28	10月7日(日)	朝日剣道大会	朝日スポーツセンター	36人
No.	月 日	行 事 等 名 称	開 催 場 所	

29	10月7日(日)	第52回温海駅伝大会	温海地域内	15チーム
30	10月14日(日)	第20回山形県少年少女スポーツ交流大会(サッカー)	小真木原公園東多目的広場 他	71人
31	10月14日(日)	ロードレース大会(朝日)	朝日地域内	22人
32	10月21日(土)	羽黒山石段マラソン全国大会	羽黒山	451人
33	11月	温海家庭婦人バレーボール第34回ナイター大会	温海中学校体育館	3チーム
34	11月～12月	温海ナイターバスケットボール大会	山戸小学校体育館	4チーム
35	11月3日(水)	櫛引剣道大会	櫛引スポーツセンター	300人
36	11月3日(土)	第20回朝日杯グラウンドゴルフ大会	朝日スポーツセンター	46人
37	11月10日(土)	羽黒地区ソフトテニス大会	羽黒テニスコート	42人
38	11月11日(日)	藤島少年少女剣道秋季練成大会	藤島体育館	60人
39	11月15日(木)～17日(土)	第56回朝日バレーボール大会	朝日スポーツセンター	男子12チーム、女子6チーム出場
40	11月21日(水)・28日(水)	藤島地域バレーボール大会	藤島体育館	40人
41	11月25日(日)	平成24年度櫛引卓球大会	櫛引中学校体育館	187人
42	11月25日(日)	朝日バスケットボール大会	朝日スポーツセンター	6チーム
43	3月3日(日)	羽黒地区剣道大会	広瀬地区公民館	33人
44	12月8日(土)	小真木原スケート場オープン	小真木原スケート場	110人
45	12月9日(日)	藤島バスケットボール大会	藤島体育館	124人
46	12月16日(日)	第31回温海卓球選手権大会・第24回温海少年少女卓球大会	温海温泉林業センター	50人
47	12月22日(金)	あつみ温泉一本木スキー場オープン	一本木スキー場	150名
48	12月27日(火)	八森山レクリエーション広場スキー場オープン	八森山レクリエーション広場	30人
49	1月19日(土)	藤島スキー教室	たらのき代スキー場	27人
50	1月20日(日)	あつみ温泉一本木スキー場まつり	一本木スキー場	460名
51	1月26日(土)	羽黒山スキー競技大会	羽黒山スキー場	130人
52	2月3日(日)	藤島少年少女剣道練成大会	藤島体育館	60人
53	2月3日(日)・10日(日)	出羽三山カップフットサル大会(羽黒)	羽黒農村センター・羽黒体育館	600人
54	2月5日(火)	羽黒地区卓球大会	手向地区公民館	15人
55	2月9日(土)	羽黒地区学童スキー大会	羽黒山スキー場	215人
56	2月10日(日)	2012くしびきスポ・レク祭	櫛引スポーツセンター	127人
57	2月16日(土)	第20回一本木カップスキー競技大会	一本木スキー場	112名
58	2月24日(日)	羽黒地区スキー大会	羽黒山スキー場	40人
59	2月24日(日)	あつみ温泉一本木スキー場感謝祭	一本木スキー場	400名
60	3月4日(日)	第18回鶴岡地区シルバーレクスボ大会	小真木原総合体育館	331人
61	3月10日(日)	櫛引地域バンボン大会	櫛引スポーツセンター	

④ スポーツ教室等による健康・生涯スポーツの推進

No.	月 日	行 事 等 名 称	開 催 場 所	備考(参加者数等)
1	11月18日(日)	フィットネスダンスフェスティバル(池田美知子氏)	小真木原総合体育館	180人
2	3月23日(土)	アドバンスドスポーツ教室(水泳 上野広治氏)	小真木原総合体育館	
3	3月30日(土)・31日(日)	アドバンスドスポーツ教室(硬式テニス 澁谷隆良氏)	アスレなの花	

⑤ 生涯スポーツ指導者、団体の育成

1) スポーツ推進委員研修事業の充実

No.	月 日	行 事 等 名 称	開 催 場 所	備考(参加者数等)
1	4月1日(日)	鶴岡市スポーツ推進委員会総会・研修会	第四学区コミセン	54人
2	5月26日(土)	庄内地区体育指導委員協議会総会・研修会	三川町公民館	26人(庄内表彰7人)
3	6月9日(土)	山形県スポーツ推進委員研究大会	河北町	13人(県表彰10人)
4	8月24日(金)・25日(土)	東北地区スポーツ推進委員研修会宮城県大会	仙台市	12人(東北表彰3人)
5	11月29日(木)・30日(金)	全国スポーツ推進委員研究協議会長崎大会	長崎県	5人
6	1月20日(土)	鶴岡市スポーツ推進委員会研修会(ヨーガ)	朝暘武道館	25人

2) 鶴岡市体育協会の育成、連携

No.	月 日	行 事 等 名 称	開 催 場 所	備考(参加者数等)
1	5月18日(金)	鶴岡市体育協会理事会(総会)	鶴岡市勤労者会館	
2	2月15日(金)	体育功労者表彰式(記念講演 上野広治氏)	グラウンド エル・サン	
3	2月2日(土)	生涯スポーツ研修会(庄司智洋氏 佐藤真弓氏)	にこふる	

3) 鶴岡市スポーツ少年団本部(137団、団員2,803人、指導者762人)の育成

No.	月 日	行 事 等 名 称	開 催 場 所	参加者数
1	5月15日(火)	鶴岡市スポーツ少年団本部代議員会	第三学区コミセン	84人
2	12月10日(月)	スポーツ少年団と小学校と情報交換会	第六学区コミセン	43人
3	1月19日(土)・20日(日)	鶴岡市スポーツ少年団指導者・母集団研修会(佐藤高弘氏)	いこいの村庄内	159人

⑥ まちおこしスポーツイベントの開催

No.	月 日	行 事 等 名 称	開 催 場 所	参加者数等
1	11月3日(土)・4日(日)	第18回ジャパンソフトバレーボール 鶴岡フェスティバル	小真木原総合体育館他	550人

2 感動と活力を与える競技スポーツの振興

① 全国レベルで活躍する選手の育成強化と指導者の養成

No.	月 日	行 事 等 名 称	開 催 場 所	参加者数等
1	1月25日(金)	鶴岡市スポーツ強化後援会会員交流会	勤労者会館	120人
2		激例会の開催、激励金の交付		交付者574人

② 山形県スポーツ振興21世紀協会の活動支援

No.	月 日	行 事 等 名 称	開 催 場 所	参加者数等
1	11月11日(日)	モンテディオ山形応援バスツアー	NDソフトスタジアム山形	189人
2	1月13日(日)	第31回全国都道府県対抗女子駅伝	京都市	21位

③ 山形県縦断駅伝競走大会鶴岡田川チームの支援

No.	月 日	行 事 等 名 称	開 催 場 所	備 考
1	4月27日～29日	第56回山形県縦断駅伝競走大会	県内	第9位

④ 競技水準の高い各種競技会の開催支援と協力体制の確立

No.	月 日	行 事 等 名 称	開 催 場 所	備 考
1	12月2日(日)	バスケットボール女子日本リーグ鶴岡大会	小真木原総合体育館	
2	9月1日(土)	プロ野球イースタンリーグ公式戦 東北楽天 VS 読売	小真木原野球場	

⑤ その他の各種競技大会(教育委員会主催を含む)

No.	月 日	行 事 等 名 称	開 催 場 所	備 考
1	5月7日(土)・8日(日)	田川地区高等学校総合体育大会(春季大会)	田川地区	
2	5月19日(土)	第36回鶴岡市学童相撲大会	小真木原相撲場	
3	6月12日(火)	羽黒ブロック小体連陸上記録会	羽黒第二小	
4	6月12日(土)・13日(日)	田川地区中学校総合体育大会	田川地区	
5	6月1日(金)～3日(日)	第63回山形県高等学校総合体育大会 ウェイトリフティング競技	羽黒体育館	
6	6月10日(日)	第41回(社)日本空手協会東北地区空手道選手権大会	小真木原総合体育館	
7	6月16日(土)	第59回山形県高等学校定時制通信制総合体育大会	小真木原陸上競技場 他	
8	6月22日(金)～27日(水)	第41回全国自治体職員サッカー選手権大会東北予選大会	小真木原陸上競技場 他	
9	7月1日(日)	NPO法人日本教育空手協会第7回東北地区大会	朝暘武道館	
10	7月7日(土)・8日(日)	第67回国民体育大会山形県予選会 バレーボール	小真木原総合体育館 他	
11	7月7日(土)・8日(日)	第67回国民体育大会山形県予選会 軟式野球	小真木原野球場	
12	7月13日(金)～15日(日)	第67回国民体育大会山形県予選会 ウェイトリフティング	羽黒体育館	
13	7月14日(土)・15日(日)	第67回国民体育大会山形県予選会 アーチェリー	小真木原公園南多目的広場	
14	7月13日(金)～15日(日)	第67回国民体育大会山形県予選会 ウェイトリフティング	羽黒体育館	
15	6月15日(金)～17日(日)	東北高等学校ヨット選手権大会 男女FJ級	鼠ヶ関マリーナ	
16	7月27日(金)	第49回鶴岡市学童水泳大会	市民プール	
17	7月29日(日)	震災復興祈念第1回記念全日本少年柔道東北ブロック育成会杯体重別大会	朝暘武道館	
18	8月4日(日)	第15回山形県ジュニア駅伝競走大会	蔵王坊平	
19	5月30日(水)	朝日ブロック小学校陸上教室	朝日小	
20	9月10日(土)	第30回鶴岡市学童陸上競技大会	小真木原陸上競技場	
21	9月8日(土)・9日(日)	田川地区高等学校総合体育大会(秋季大会)	田川地区	
22	9月14日(水)	櫛引地区小学校連合運動会	櫛引総合運動公園	
23	9月12日(水)	温海地域小学校陸上記録会	鼠ヶ関小学校	
24	9月16日(日)	第40回東北地区剣道優勝大会	朝暘武道館	
25	9月17日(月)	第60回山形県剣道大会		
26	9月22日(土)・23日(日)	田川地区中学校新人体育大会	田川地区	
27	1月27日(日)	朝日学童スキー大会	湯殿山スキー場	
28	2月9日(土)	羽黒ブロック学童スキー大会	羽黒山スキー場	

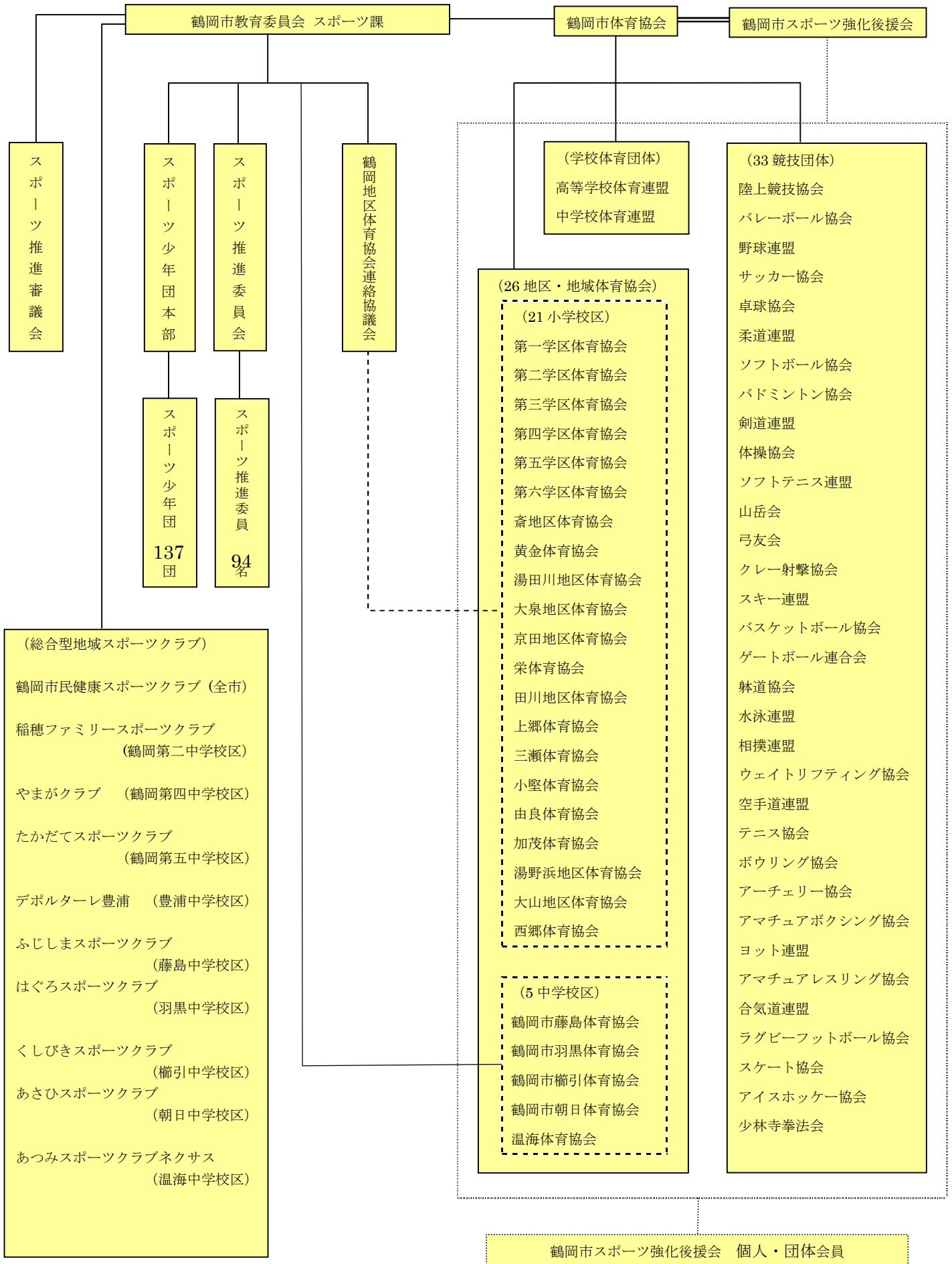
3 市民が利用しやすいスポーツ・レクリエーション施設の整備充実

① スポーツ・レクリエーション施設の整備

- | | |
|------------------------------|-------------|
| 1) 小真木原陸上競技場トラック改修工事 | 39,322,500円 |
| 2) 朝日スポーツセンターテニスコート防風ネット改修工事 | 935,550円 |
| 3) 藤島運動広場夜間照明電気設備改修工事 | 619,500円 |

	勲功賞	栄光賞	奨励賞	計	大会参加 激励金交付
平成18年度	18	505	79	602	737
平成19年度	48	350	152	550	755
平成20年度	26	456	102	584	641
平成21年度	13	524	136	673	851
平成22年度	22	473	108	603	671

	勲功賞	栄光賞	奨励賞	計	大会参加 激励金交付
平成18年度	18	505	79	602	737
平成19年度	48	350	152	550	755
平成20年度	26	456	102	584	641
平成21年度	13	524	136	673	851
平成22年度	22	473	108	603	671
平成23年度	16	411	136	563	539
平成23年度	16	411	136	563	539



各年度体育施設利用状況(鶴岡地域)

施設名 / 月		平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	
鶴 岡 地 域	第二体育館	23,678	22,442	23,004	4,344	
	宝田体育館	22,000	22,907	24,188	23,764	
	市民プール	167,730	158,964	159,411	148,755	
	小真木原総合体育館	総合体育館アリーナ	55,714	54,637	62,836	53,673
		〃 多目的ホール	70,957	79,863	58,630	63,010
		〃 会議室他	7,090	7,448	5,475	8,200
		トレーニングルーム	9,152	8,720	10,042	11,812
		小真木原総合体育館合計	142,913	150,668	136,983	136,695
	小真木原公園	陸上競技場	66,729	62,382	63,254	63,174
		東多目的広場	4,129	6,286	5,421	3,556
		南多目的広場	21,000	24,950	23,344	20,902
		テニスコート	43,709	46,642	43,471	45,335
		スケート場	10,143	9,603	9,782	9,600
		相撲場	2,722	2,085	1,935	1,059
		野球場	60,372	58,015	61,637	58,617
		朝陽武道館	79,073	80,410	100,325	94,942
		いこいの広場	30,937	31,638	31,495	34,617
		八森山レクエリア	2,631	2,454	2,775	3,317
	第二中学校グランドナイター	1,977	1,959	1,480	3,729	
第四中学校グランドナイター	1,766	1,395	738	1,745		
東部運動広場	13,771	13,657	12,732	12,106		
大山運動広場	12,263	7,525	11,854	8,233		
合 計	707,543	703,982	713,829	674,490		

各年度体育施設利用状況(藤島地域)

施設名 / 月		平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度
藤島 地 域	アリーナ	38,729	29,791	33,174	34,421
	ステージ	5,162	8,227	5,006	6,004
	軽スポーツルーム	9,570	8,720	12,184	10,715
	会議室	4,643	3,581	3,617	4,195
	研修室	2,097	2,072	1,762	1,900
	トレーニングルーム	15,958	14,073	17,139	15,660
	ランニングコース	2,876	3,186	3,616	4,561
	藤島体育館合計	79,035	69,650	76,498	77,456
屋内練習場	27,045	17,135	18,069	19,646	
クライミングウォール	857	667	711	791	
グラウンドゴルフ場	8,475	7,550	15,171	12,882	
テニスコート(芝)	5,942	6,337	5,793	4,720	
テニスコート(クレー)	5,438	5,859	4,580	4,242	
クラブハウス	210	2,160	7,152	6,128	
芝生広場	3,561	8,046	6,959	5,523	
その他(駐車場)	11,525	8,630	12,771	5,020	
合 計		142,088	126,034	147,704	136,408

各年度体育施設利用状況(櫛引地域)

		施設名 / 月	平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度
櫛 引 地	櫛 引 ス ポ ー ツ セ ン タ ー	アリーナ	25,417	25,967	26,863	26,906
		武道場	7,909	7,904	7,280	5,676
		クレールコート	10,001	10,480	10,240	9,939
		トレーニングルーム	7,298	7,025	6,230	7,091
		合宿場	4,216	3,151	2,927	3,162
		研修室	0	0	0	0
		会議室	0	0	0	0
		シャワー室	0	0	0	168
		軽スポーツコーナー	476	90	260	864
		調理室	1,176	348	881	896
		指導員室	329	226	94	82
		その他	252	513	333	525
		櫛引スポーツセンター合計	57,074	55,704	55,108	55,309
		櫛 引 域	櫛 引 総 合 運 動 公 園	陸上競技場	5,772	6,732
多目的広場	7,378			8,151	5,998	4,701
野球場	6,615			7,816	6,250	5,982
Gゴルフコート	2,526			2,170	9,282	10,341
野外ステージ	0			0	0	0
なべっこ広場	4,167			3,563	4,054	3,974
イベント広場	1,894			1,125	57	1,050
その他	1,520			1,610	2,121	1,408
櫛引中グラウンド	1,826			1,669	2,135	3,804
合 計	88,772			88,540	91,127	92,645

各年度体育施設利用状況(羽黒・朝日・温海地域)

		施設名 / 月	平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度
羽 黒 地 域	羽 黒 体 育 館	アリーナ	27,169	32,582	30,753	30,028
		トレーニングルーム	9,472	9,444	9,611	9,709
		トレーニングスタジオ	345	782	426	117
		会議室	932	774	1,194	586
		研修室	1,595	1,397	1,497	1,311
		羽黒体育館合計	39,513	44,979	43,481	41,751
		テニスコート	12,979	13,916	13,399	13,272
	体育センター	6,894	8,499	7,728	8,925	
	合 計		59,386	67,394	64,608	63,948

		施設名 / 月	平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度
朝 日 地 域	朝 日 ス ポ ー ツ セ ン タ ー	体育館	12,215	11,897	11,130	14,041
		グラウンド	5,445	4,646	4,664	5,020
		ゲートボール場	244	132	74	104
		テニスコート	408	735	599	700
	合 計		18,312	17,410	16,467	19,865

		施設名 / 月	平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度
温 海 地 域	温 海 総 合 運 動 場	(野球場)	3,935	3,698	2,477	1,996
		(テニスコート)	190	90	142	144
	鼠ヶ関マリーナ	3,806	3,195	2,448	2,863	
	一本木スキー場	6,416	5,742	6,714	6,507	
	合 計		14,347	12,725	11,781	11,510

全 市 合 計		1,030,448	1,016,085	1,045,516	998,866
---------	--	-----------	-----------	-----------	---------

鶴岡市学校体育施設開放利用状況

	No	学校名	H21年	H22年	H23年	H24年
鶴 岡 地 域	1	朝 一 小	21,968	26,229	36,757	33,170
	2	朝 二 小	29,760	31,401	32,128	27,517
	3	朝 三 小	23,310	22,280	22,916	22,817
	4	朝 四 小	23,349	21,573	26,001	26,604
	5	朝 五 小	20,153	17,130	17,298	17,422
	6	朝 六 小	45,230	39,898	49,462	42,510
	7	斎 小	5,502	7,105	6,131	5,593
	8	黄 金 小	2,309	2,693	5,580	6,786
	9	湯 田 川 小	4,679	4,517	3,915	4,222
	10	大 泉 小	12,306	10,949	10,806	12,110
	11	京 田 小	8,670	7,624	7,331	7,654
	12	栄 小	2,882	3,119	2,463	2,506
	13	田 川 小	2,126	3,262	1,663	2,178
	14	上 郷 小	6,619	5,309	4,996	4,713
	15	三 瀬 小	23,427	22,120	15,016	11,788
	16	小 堅 小	2,501	2,098	967	1,164
	17	由 良 小	1,193	324	1,278	1,469
	18	加 茂 小	6,269	6,526	6,327	6,021
	19	湯 野 浜 小	8,859	8,884	8,217	8,354
	20	大 山 小	13,141	10,786	17,069	17,595
	21	西 郷 小	9,109	9,089	8,290	9,080
	22	鶴 一 中	10,322	9,055	4,378	7,763
	23	鶴 二 中	7,571	7,289	6,863	6,500
	24	鶴 三 中	6,657	6,589	5,649	5,527
	25	鶴 四 中	4,817	5,671	7,995	10,436
	26	鶴 五 中	10,068	8,522	9,307	10,209
	27	鶴五中 武道館	5,530	7,124	4,798	5,084
	28	豊 浦 中	8,401	7,286	5,842	4,402
		合 計	326,728	314,452	329,443	321,194

鶴岡市学校体育施設開放利用状況

	No	学校名	H21年	H22年	H23年	H24年
藤島地域	1	藤 島 小	5,357	4,327	4,011	5,005
	2	東 栄 小	518	394	535	489
	3	長 沼 小	1,083	1,016	1,127	649
	4	渡 前 小	3,478	3,108	2,968	3,010
	5	藤 島 中	3,245	2,593	3,180	3,978
		合 計	13,681	11,438	11,821	13,131
羽黒地域	1	羽 黒 一 小	651	708	860	2,536
	2	羽 黒 二 小	5,821	5,640	2,782	2,692
	3	羽 黒 三 小	10,446	14,499	13,941	13,944
	4	羽 黒 四 小	0	0	0	0
	5	羽 黒 中	0	0	0	2,176
		合 計	16,918	20,847	17,583	21,348
櫛引地域	1	櫛 引 東 小	5,672	5,782	5,374	5,187
	2	櫛 引 西 小	5,934	6,086	5,400	6,263
	3	櫛 引 南 小	8,595	5,342	5,876	9,159
	4	櫛 引 中	7,301	6,042	6,565	9,311
	5	櫛引中 柔道場	4,044	3,450	1,821	1,087
		合 計	31,546	26,702	25,036	31,007
朝日地域	1	大 網 小	525	462	360	222
	2	朝 日 小	6,119	5,294	3,847	1,635
	3	朝 日 大 泉 小	1,333	620	783	816
	4	朝 日 中	4,695	5,148	3,123	3,794
		合 計	12,672	11,524	8,113	6,467
温海地域	1	温 海 小	6,137	9,001	9,407	9,653
	2	五 十 川 小	1,272	1,089	678	1,046
	3	鼠ヶ関小	9,988	10,664	8,839	11,454
	4	福 栄 小	185	150	200	400
	5	山 戸 小	5,552	3,923	2,702	3,924
	6	温 海 中	18,439	11,972	10,005	12,573
		合 計	41,573	36,799	31,831	39,050
全 市 合 計			443,118	421,762	423,827	432,197